



HVC

Video Conferencing for Everyone

ユーザーマニュアル

目次

はじめに.....	1
パッケージ内容.....	1
HVC の構成紹介	2
メインシステム.....	2
マイク	3
カメラ.....	4
リモコン	5
接続する	8
モニターの接続	8
テレビのディスプレイ出力を接続する	8
マイクを接続する.....	9
LAN を接続する	9
電源を接続する	10
コンピュータを接続する.....	10
DVD プレーヤーまたはカムコーダーに接続する	11
RS-232 を介した集中制御システムへの接続	11
HVC をセットアップする	12
カメラ	12
赤外線センサー	12
レブラケット (オプション) の設置	13
マイクの配置	13
HVC の使用方法	14
メニューと設定を操作する	14
画面キーボードと数値パッドを使用する	14
ホームメニュー画面.....	15
カメラコントロール	15
HVC カメラを調整するには	15
ダイヤル	16
ダイヤルを使用して電話をかけるには	16
電話帳	16
グループを追加するには	17
グループを編集するには	18
グループを削除するには	20
電話帳に登録項目を追加するには	21
電話帳の登録項目を編集するには	24
電話帳の登録項目を削除するには	25
通話履歴.....	26



通話の着信/発信をチェックするには	26
通話履歴から電話をかけるには.....	27
設定	28
管理者	28
管理者設定を有効または無効にする	28
クイックスタート.....	30
HVC をセットアップするには	31
言語をセットアップするには	32
システム名をセットアップするには	32
LAN 設定	33
ネットワークをテストするには.....	34
日付と時刻をセットアップするには.....	35
一般設定.....	35
カメラの遠隔コントロールを有効または無効にするには:.....	36
一般設定で言語をセットアップするには.....	37
モニターのアスペクト比を設定するには	38
通話設定.....	39
自動応答設定を設定するには.....	39
SIP (Session Initiation Protocol) を設定するには	41
AES (Advanced Encryption Standard) を有効または無効にするには	42
ネットワーク	43
ゲートキーパーを設定するには	43
ファイアウォールを設定するには.....	44
QoS 品質の有効/無効化	45
ビデオ/オーディオ.....	46
ダイヤル音を有効/無効にするには	46
カメラのホワイトバランス/露出/周波数を設定するには	46
マイクゲインレベルおよびマイク入力ソースを設定するには	48
ビデオ/オーディオコーデックを指定するには	49
システムのリセット.....	50
システムをリセットするには	50
カメラのプリセットポイントを設定する	50
カメラのプリセットポイントを設定するには:.....	51
ネットワークをテストする.....	51
ネットワークをテストするには:	51
ビデオとオーディオをテストするには:.....	52
システムログを保存、送信するには:	53
WebTool を利用して HVC システムを管理する	54

インターネットブラウザを使用して HVC にアクセスするには:	54
WebTool でカメラ制御を使用するには:	55
WebTool で電話帳に追加、編集、および削除を行うには:	55
WebTool で電話帳の登録項目をダウンロードするには:	56
ダウンロードした電話帳の登録項目を編集、保存するには:	57
WebTool で電話帳の登録項目をアップロードするには:	58
WebTool で通話履歴をダウンロードするには:	59
通話履歴リストから電話帳登録に追加するには:	60
Webtool を利用してファームウェアをアップデートする	61
システム設定をバックアップするには:	62
システム設定を復元するには:	63
HVC を使用する	64
電話をかける	64
電話帳を使用して電話をかけるには:	65
ダイヤルを使用して電話をかける:	65
通話履歴を使用して電話をかけるには:	66
MCU 通話を終了するには:	67
ビデオ録画	68
HVC で録画したビデオを再生するには	68
AVer VCPPlayer プレーヤーを使用して会議録画を再生するには	69
VCLink モバイルの使用	70
VCLink モバイルの使用を開始するには:	71
ScreenShare の使用	72
ScreenShare モバイルの使用を開始するには:	72
トラブルシューティング	73
オーディオ	73
ビデオ/ディスプレイ	74
ネットワーク	74
一般事項	75
保証について	76
米連邦通信委員会声明(Class A)	77
Class A ITE:	77
CE Class A (EMC)	77
免責	77
商標	78
著作権	78
リモコンのバッテリーの安全性に関する情報	78



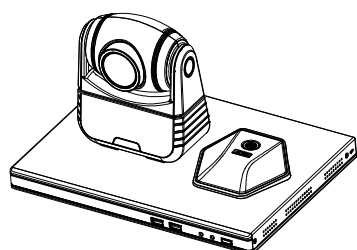
はじめに

このたびは、HVC をご購入いただき、誠にありがとうございます。HVC は通話相手を見ながら通信ができる、ビデオ会議システムです。H330 をご使用いただければ、さまざまな異なった国やロケーションの会議参加者と4拠点のビデオ会議通話を行うことができます。これはお客様の貴重な時間と出張経費の節約につながります。

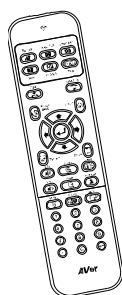
HVC は、5メガピクセルのカメラセンサーを使用し、720p の高解像度の画質を実現します。HVC を HDMI モニターに接続すれば、高解像度の画質を実現できます。USB フラッシュドライブを使用し、撮影した静止画像を保存して、HVC、または AVer VC プレーヤーをインストールした PC でいつでも見たり、ミーティング出席者とそれを共有することができます。

パッケージ内容

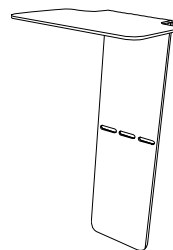
以下の製品がパッケージに同梱されていることを確認してください。



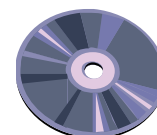
AVer™ HVC
(メインシステム、カメラ、およびマイク)



リモコン



L-ブラケット
(カメラスタンド)



マニュアル CD



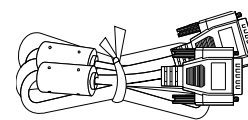
単4電池2本



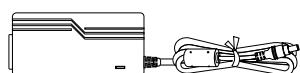
8ピン - RS232 変換器



マイクケーブル



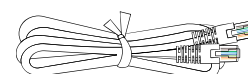
26Pin-DSUB ケーブル
(メス/メス)



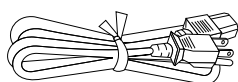
電源アダプタ



HDMI ケーブル



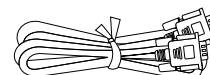
RJ-45 ケーブル



電源コード



3ピン - マイク変換器



VGA ケーブル

* 製品が販売される国の標準コンセントに応じて、電源コードは異なります。



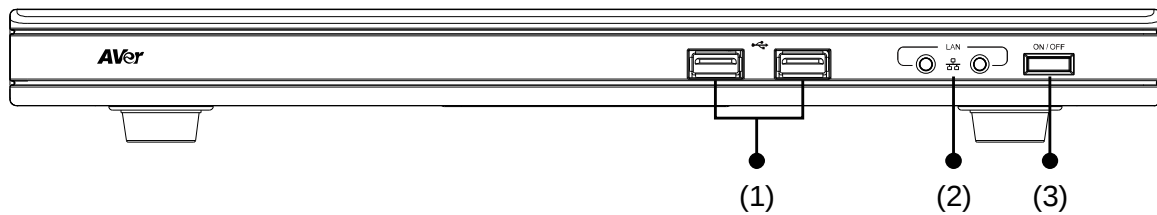
ミニピンステレオ to RCA ケーブル



S-Video - コンポジット変換器

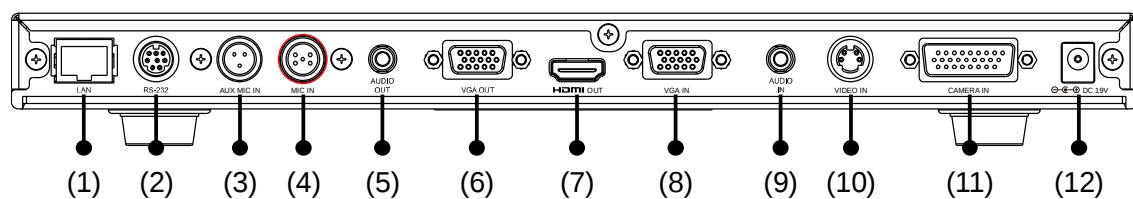
HVC の構成紹介

メインシステム



メインシステムの正面パネル (図 1.1)

名称	機能
(1) USB フラッシュドライブポート	USB フラッシュドライブを挿入します。これにより、撮影した写真を保存したり、ミーティングをビデオ形式で保存することができます。
(2) ネットワークステータス	ネットワーク接続をチェックします。
(3) 電源	本体の電源をオン/オフにします。

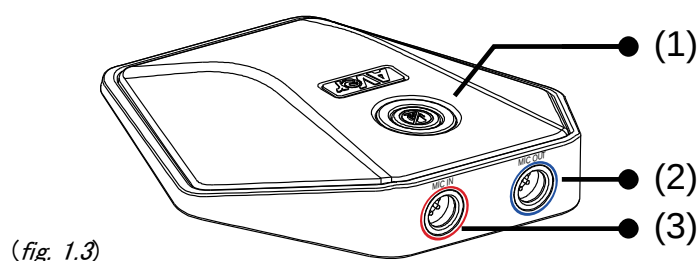


本体の背面パネル (図 1.2)

名称	機能
(1) LAN	RJ-45 Ethernet ケーブルを RJ-45 Ethernet ポートに接続します。HVC を IP ベースのネットワークに接続してください。
(2) RS-232	RS-232 インターフェースで機器に接続します。これにより HVC を集中制御システム機器に統合することができます。
(3) AUX MIC IN (AUX MIC 入力)	集中制御システム機器のマイクに接続します。
(4) MIC IN	マイクからオーディオ信号を受信します。
(5) AUDIO OUT (オーディオ出力)	RCA の左右のオーディオ接続またはアンプ付きスピーカーを介してテレビのメインシステムからオーディオ信号を出力します。
(6) VGA OUT	フラットパネルモニター/LCD テレビまたは LCD/DLP プロジェクターのメインシステムから RGB 接続を介してビデオ信号を出力します。 デュアルモニターモードでは、これはメイン画面になります。

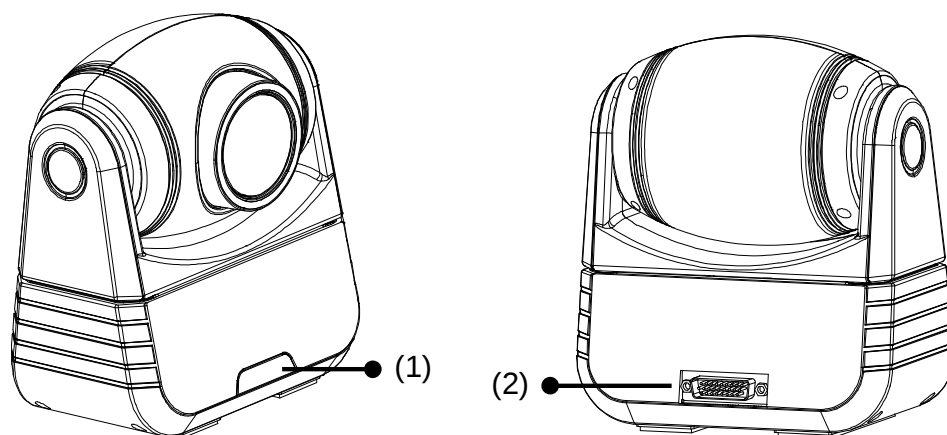
名称	機能
(7) HDMI OUT	HDMI モニターのメインシステムから HDMI 接続を介してビデオ信号を出力します。デュアルモードでは、これはメイン画面になります。
(8) VGA IN (VGA 入力)	コンピュータまたはその他のソースから信号を入力します。コンピュータの VGA 出力ポートにこのポートを接続します。リモートで PRESENT を押して VGA IN を選択し、ビデオ会議のカメラ画像と一緒にコンピュータ画像を共有し、表示します。
(9) AUDIO IN (オーディオ入力)	RCA の左右のオーディオ接続を介してオーディオ機器からオーディオ信号を受信します。
(10) VIDEO IN (ビデオ入力)	ビデオ機器から S-Video/RCA 接続を介してビデオ信号を受信します。
(11) CAMERA (カメラ)	カメラからメインシステムまで画像を受信します。
(12) DC 19V	電源アダプターをこのポートに接続します。

マイク



名称	機能
(1) Mute (ミュート)	マイクのスイッチをオン/オフにします。
(2) MIC OUT	マイクからオーディオ信号を出力します。
(3) MIC IN	その他のマイクからオーディオ信号を受信し、MIC OUT を介して伝送します。

カメラ



(fig. 1.4)

名称

機能

(1) IR Sensor

リモコンをここに向けて、装置を操作します。

(IR センサー)

(2) CAMERA

カメラからメインシステムに信号を送信します。

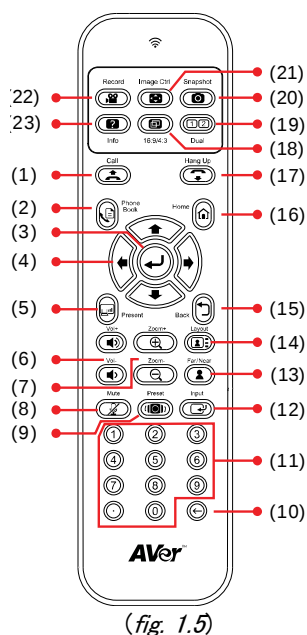
(カメラ)

リモコン

リモコンには単 4 電池 2 本が必要です(製品に付属)。使用前に電池が正しく挿入されているか確認してください。HVC カメラの赤外線センサーにリモコンを向けて装置を操作してください。



*この機能は HVC モデルにのみ搭載されています。

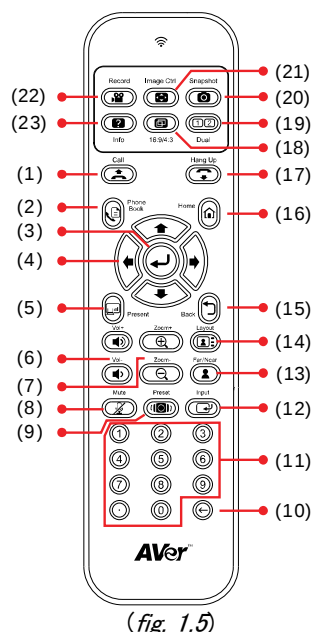


名称

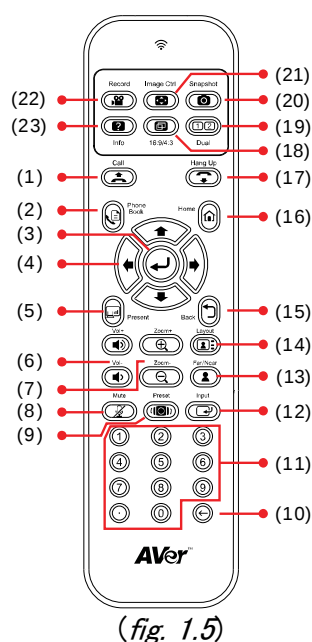
機能

- | | |
|-----------------------------|---|
| (1) Call (通話) | 通話を開始するか、別のグループを追加します。 |
| (2) Phone Book (電話帳) | <ul style="list-style-type: none"> 連絡先を検索して電話をかけます。 グループ連絡先の登録項目を追加、編集、削除、また作成します。 |
| (3) Enter (入力) | <ul style="list-style-type: none"> OSD メニューまたは画面上のキーボードで選択します。 かかってきた電話を受け付けます。 ミーティング中にサイト名とアイコンを表示します。 |
| (4) ▲, ▼, ◀, ▶ | <ul style="list-style-type: none"> これらのボタンを使用し、OSD メニューまたは画面上のキーボードで選択項目をナビゲートします。 カメラをパン、チルトしてカメラの視角を調整します。 拡大したカメラの画像または取り込んだ画像をパン、チルトします。 |
| (5) Present (プレゼント) | <p>VGA IN ポートからの信号または最新に取り込んだ画像を共有します。</p> <p>この [プレゼント] アイコン  は画面に表示され、プレゼント画像を共有していることを示します。[プレゼント] アイコンは 5 秒後に消えます。</p> |
| (6) Vol (音量)+/- | スピーカーの音量を増減します。 |





名称	機能
(7) Zoom (ズーム)+/-	カメラ画像または取り込んだ画像の拡大率を増減させます。
(8) Mute (ミュート)	マイクのスイッチをオン/オフにします。この [ミュート] アイコン  は、マイクがオフの時に表示されます。[ミュート] アイコンは 5 秒で半透明になります。
(9) Preset (プリセット)	3 秒間押し続けて、選択した数字でカメラのプリセットポイントの位置を設定します。プリセットポイントは 0～9 の間で設定できます。 - このボタンを押すと、カメラの対象が選択したプリセットポイントの数字に移動します。
(10) バックスペース	1 回に 1 スペース戻り、1 文字を削除します。
(11) 数字パッド	数字の入力に使用します。
(12) Input (入力)	HVC カメラ、S-ビデオ、ビデオ、または VGA 間で入力ソースを切り替えます。
(13) Far/Near (ファー/ニア)	自拠点または遠隔サイトのカメラのどちらをコントロールするかを選択します。[カメラコントロール] アイコン  は画面上に表示され、どちらのサイトをコントロールしようとしているかを示します。[カメラコントロール] アイコンは 5 秒後に消えます。  遠隔サイトのカメラは、遠隔サイト側のカメラコントロールを有効にした場合にのみ操作が可能です。
(14) Layout (レイアウト)	異なる分割画面モードに変更します。
(15) Back (戻る)	前の OSD メニュー選択に戻ります。
(16) Home (ホーム)	メイン画面を呼び出します。
(17) Hang Up (電話を切る)	通話を終了します。



名称	機能
(18) 16:9/4:3	16:9 または 4:3 に切り替えてモニターのアスペクト比を調節します。
(19) Dual (デュアル)	デュアルモニターモードに切り替えます。これでビデオ会議画面とプレゼント画面を分割します。ビデオ会議画面はメインシステムの HDMI OUT に接続したモニターに、プレゼント画面はメインシステムの VGA OUT に接続したモニターに、それぞれ表示されます。
(20) *Snapshot (スナップショット)	カメラから画像を取り込みます。取り込んだ画像を見るには、Image Ctrl (画像コントロール) を押します。
(21) *Image Ctrl (画像コントロール)	カメラと画像モードを切り替えます。 - カメラモード – パン、チルト、ズームイン/アウト、フォーカス調整が可能です。 - 画像モード – 取り込んだ画像を表示することができます。取り込んだ画像を USB フラッシュドライブに保存するには、Record (録画) を押します。
(22) *Record (録画)	ビデオ録画を開始/停止します。ビデオ録画は USB フラッシュデバイスでのみ保存されます。ビデオ会議通話中であるかに関わりなく、ビデオ録画を実行することができます。
(23) Info (情報)	通話統計情報を表示します。

*この機能は HVC330 モデルにのみ搭載されています。

接続する

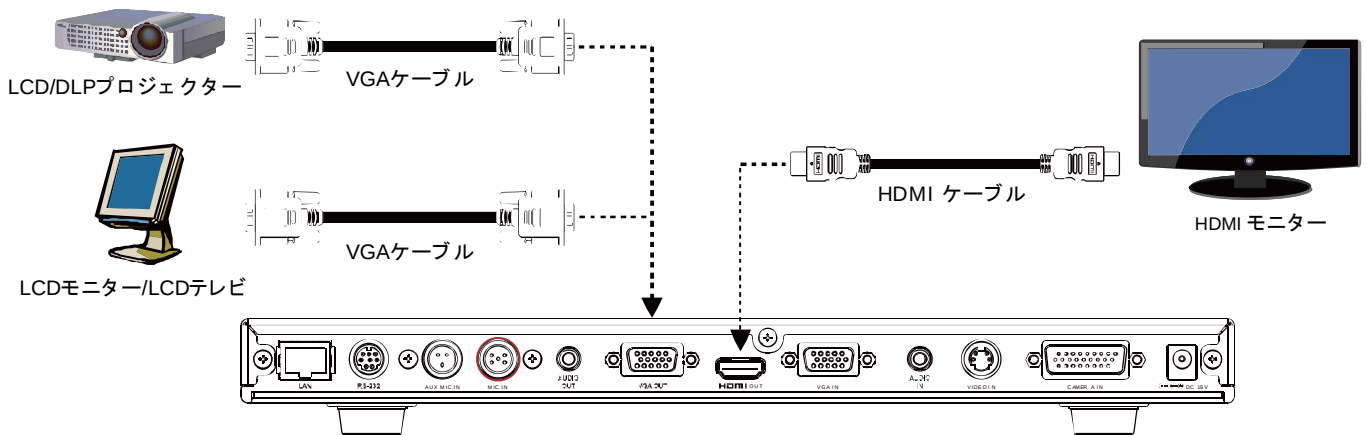
接続する前に、必ずすべての機器の電源を切ってください。接続する箇所が不明な場合には、以下に示す図を参照するか、HVC を接続している機器のユーザーマニュアルも参照してください。



接続をすべて完了してから電源を入れてください。

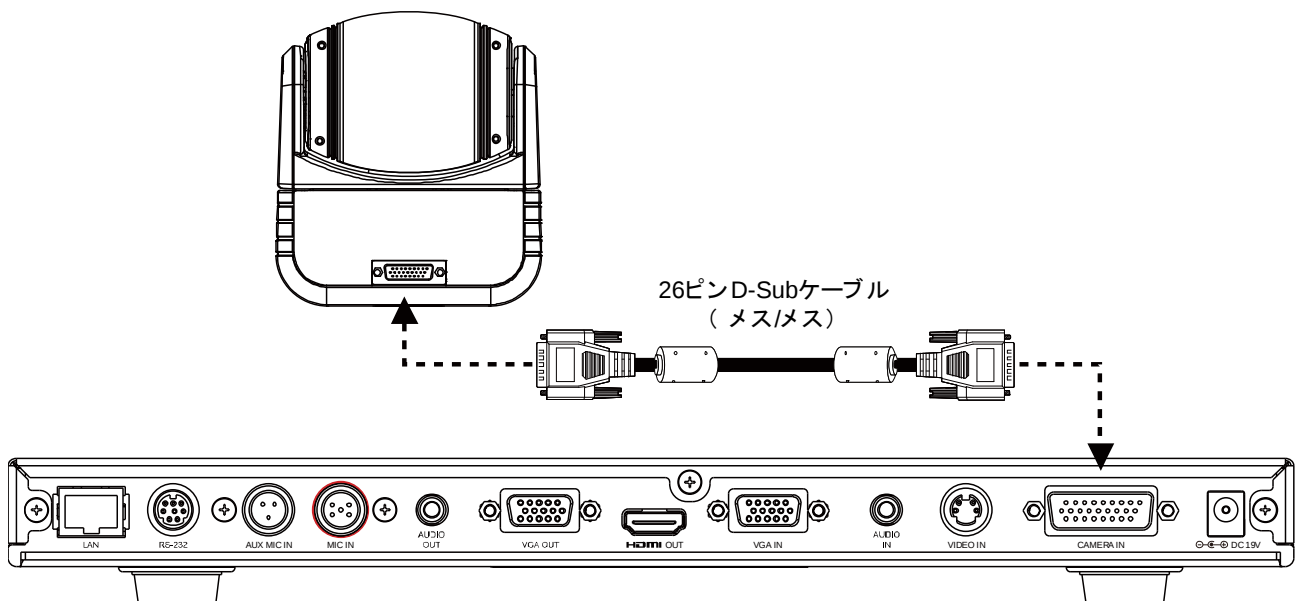
モニターの接続

グラフィックスディスプレイ機器の VGA/HDMI 入力ポートを HVC の VGA OUT/HDMI OUT ポートに接続します。VGA OUT と HDMI OUT は同時に使用することができます。これによりデュアルモードに切り替えて画面を分割し、ビデオ会議信号を 1 つの画面に表示してプレゼンの信号をもう 1 つの画面に表示することができます。



カメラとメインシステムを接続する

カメラのカメラポートと HVC のカメラ入力ポートを接続します。

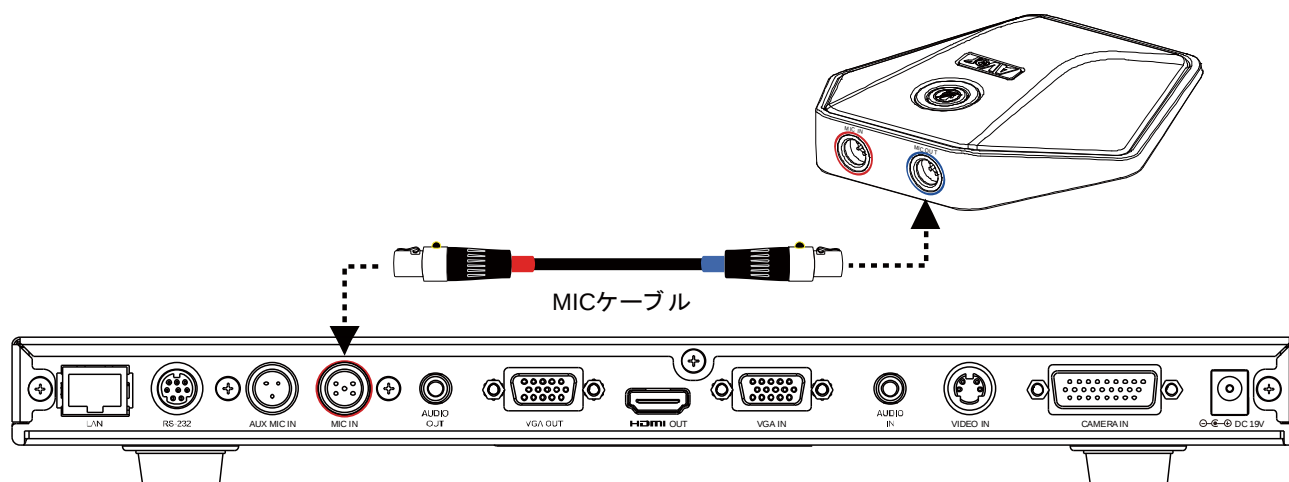


マイクを接続する

付属のマイクケーブルを使用し、HVC の MIC IN ポートに赤色のタグ付きの MIC ケーブルを接続します。そのあと青色のタグ付きの MIC ケーブルのもう一方の端子を MIC OUT ポートに接続します。



マイクのスイッチをオン/オフにするには、HVC マイクの上部にあるボタンを押します。

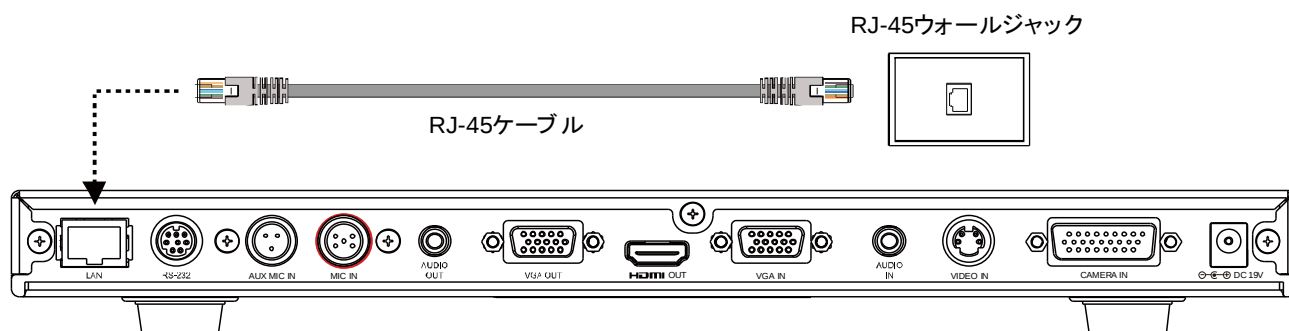


LAN を接続する

RJ-45 Ethernet ケーブルを使用し、HVC の LAN ポートから RJ-45 コンセントまたはイーサネットハブまで接続します。



必ず IP ベースのネットワークに接続してください。

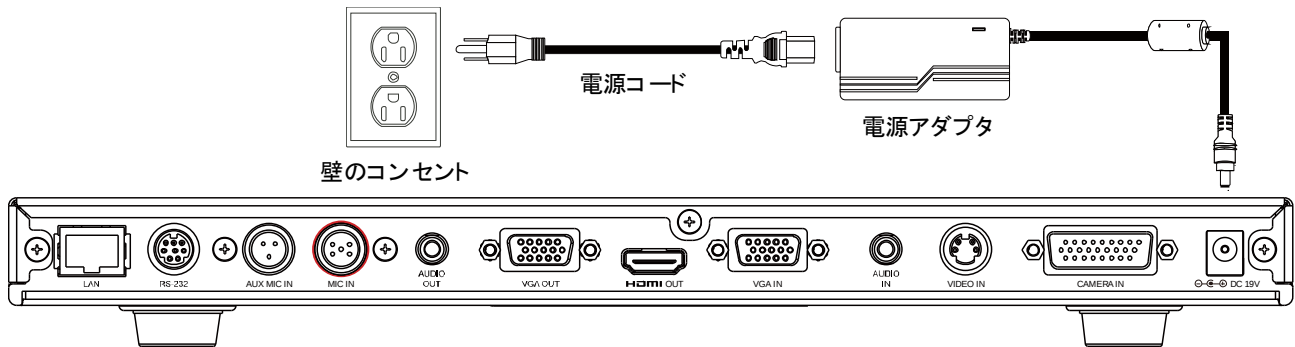


電源を接続する

標準の 100V~240V AC 電源コンセントに電源アダプタを接続します。



- 感電を防止するため、メインシステムの接続ポートに接続してから、電源を接続して電源を入れてください。
- 供給された 19V 電源アダプターを必ず使用してください。

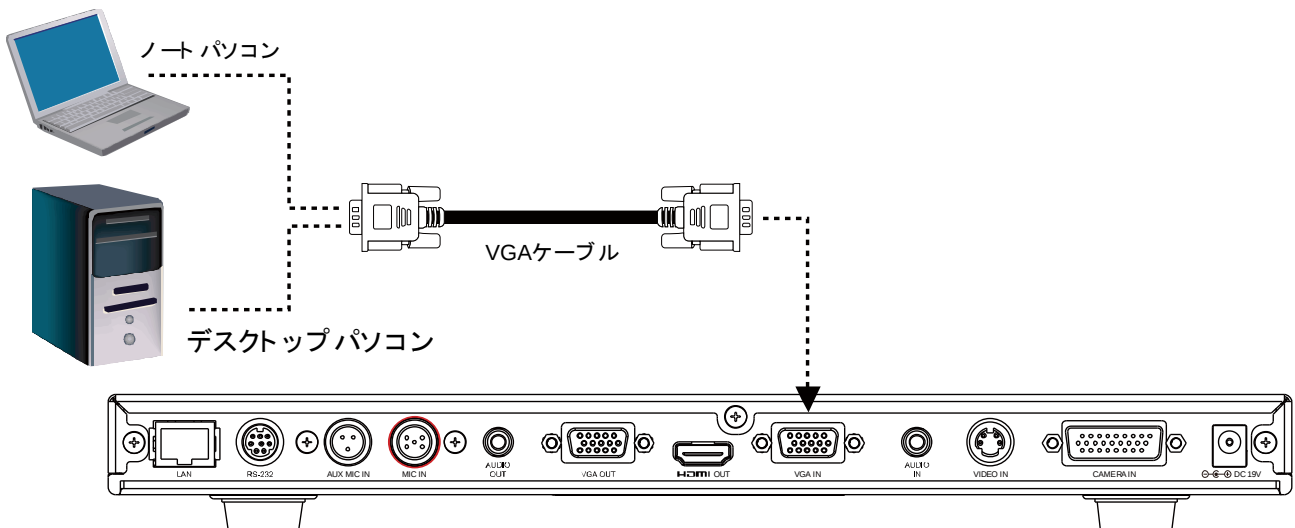


コンピュータを接続する

コンピュータかノートブックパソコンの VGA 出力ポートの位置を確認し、HVC の VGA IN ポートとの間で接続します。



データを共有するには、PRESENT を押して [VGA] を選択します。

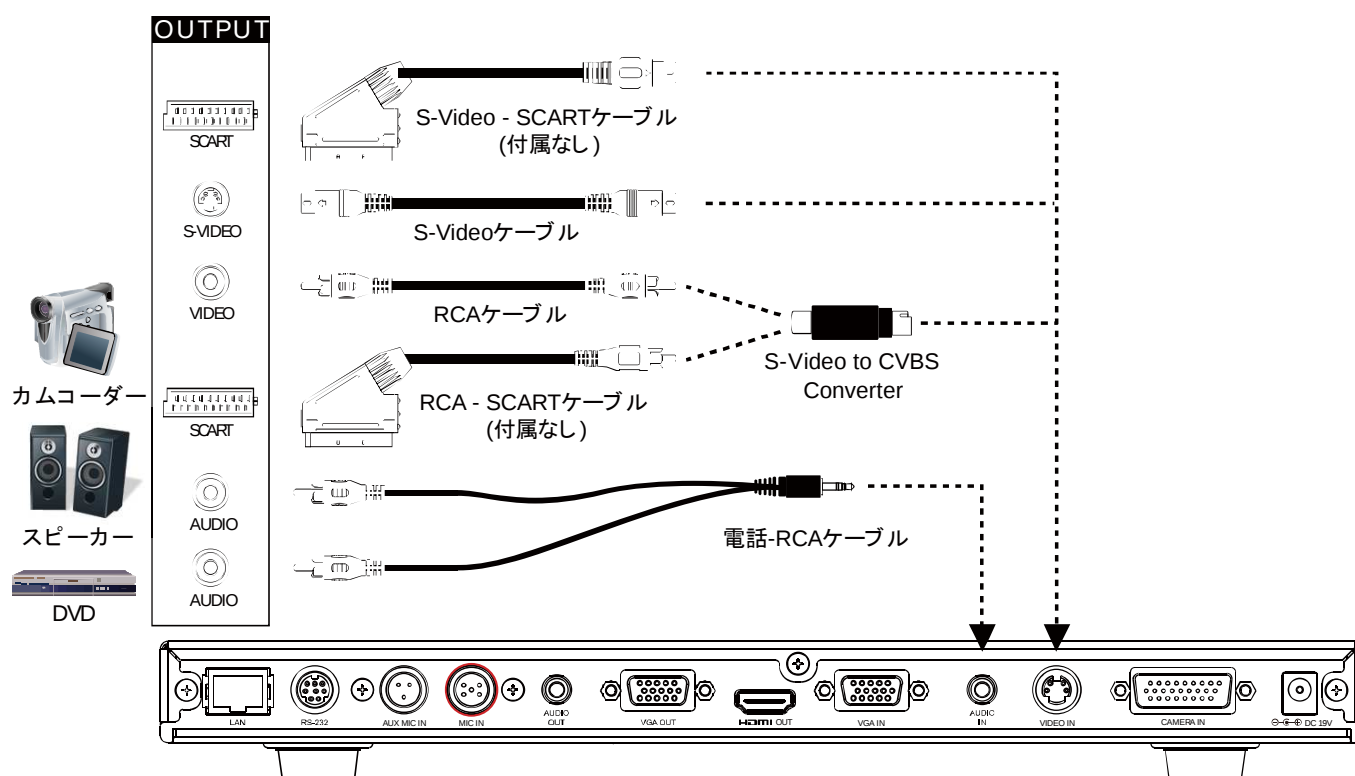


DVD プレーヤーまたはカムコーダーに接続する

メディアプレーヤー（DVD プレーヤー）またはカムコーダーの S-VIDEO、VIDEO、および AUDIO 出力ポートの位置を確認し、カメラからの画像ではなくビデオを共有し、AVer HVC の VIDEO IN および Audio IN ポートに接続します。

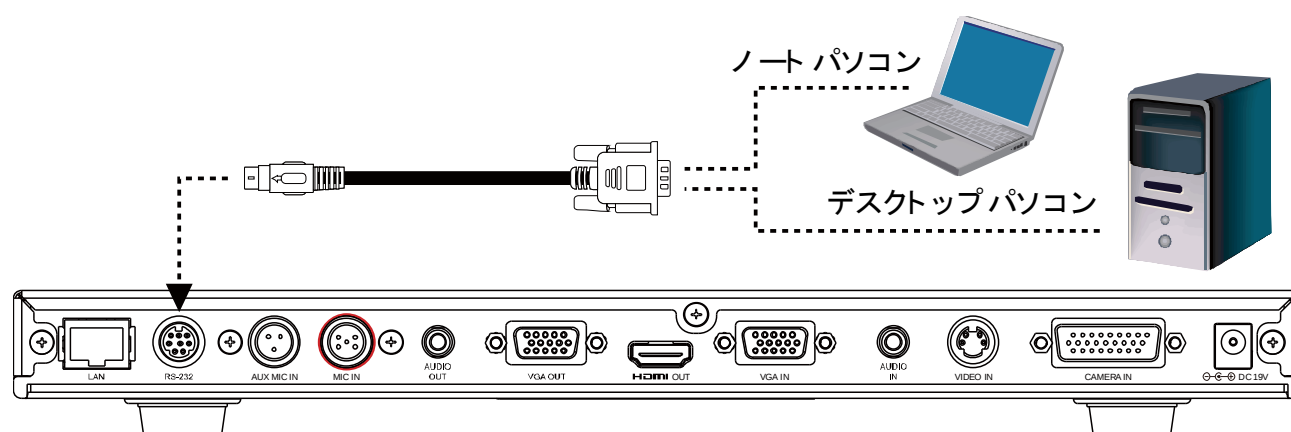


- NTSC/PALスイッチ設定を必ず適切なテレビシステムに設定してください。
- 画質を高めるため、S-Video 接続を使用することを強く推奨します。



RS-232 を介した集中制御システムへの接続

付属の 8 ピン RS232 変換器を使用し、8 ピンアダプタを RS-232 ポートに接続します。そのあともう一方の端子を集中制御システムの RS-232 ポートに接続します。コマンドコードについては、当社のウェブサイトにて技術サポートにリストを要求してください。



HVC をセットアップする

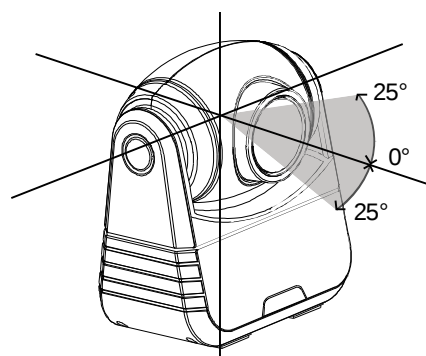
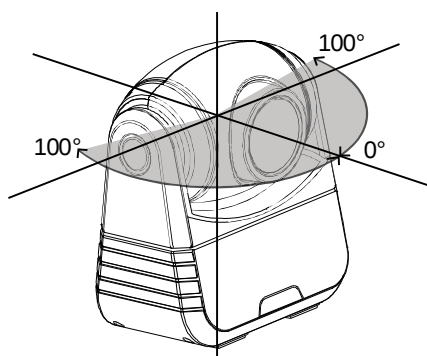
このセクションでは、ニーズに合わせて HVC をセットアップする方法の便利なヒントを説明します。

カメラ

HVC カメラは、▲、▼、◀、▶、を使用したパン (0° ± 100 度の範囲)、チルト (0° ± 25 度の範囲)、および、ズーム (7X) が可能です。さらに、Zoom +/- ボタンがリモコンに付いています。

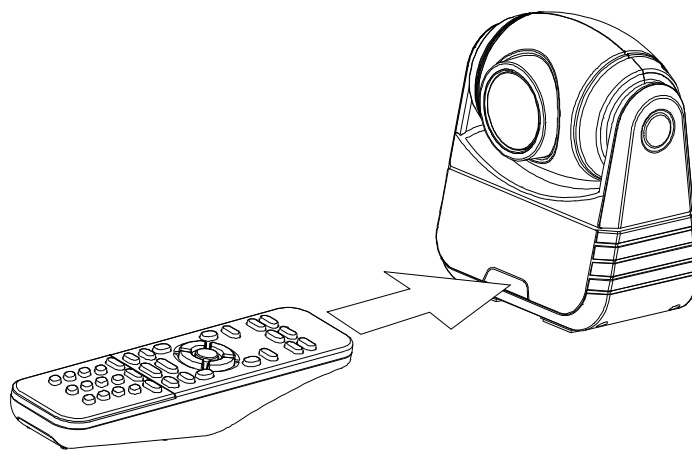


手動でカメラを調整しないでください。パンおよびチルト用のモーターで位置ずれや破損が生じる可能性があります。カメラヘッドのパンとチルトを行う際には必ずリモコンを使用してください。



赤外線センサー

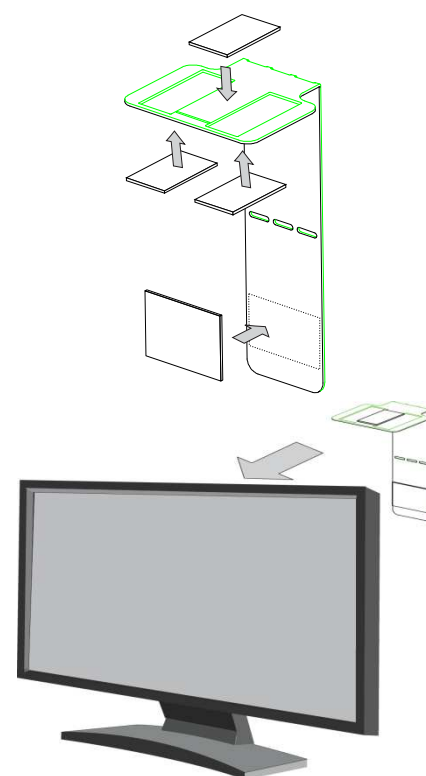
カメラの赤外線センサーにリモコンを向けて装置を操作してください。



L-ブラケット（オプション）の設置

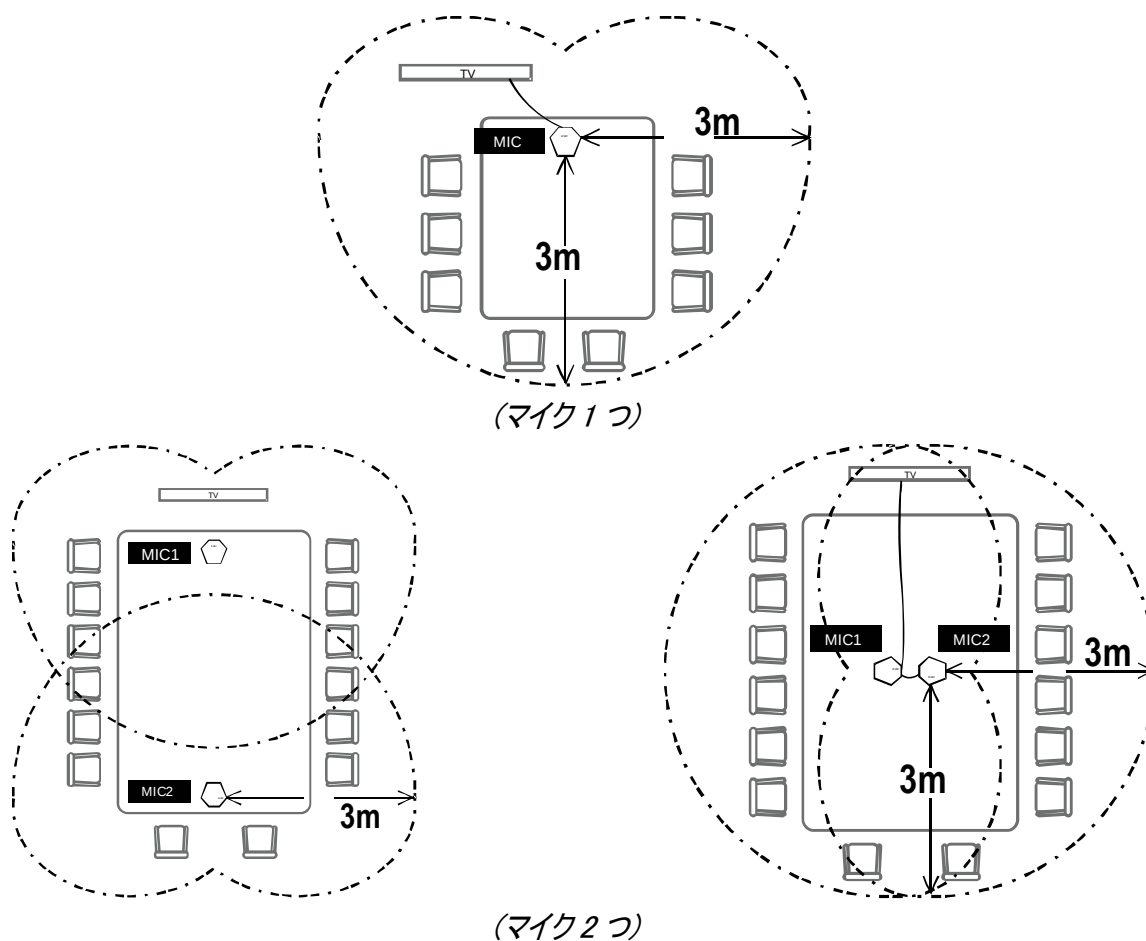
LCD モニターで L-ブラケットを使用します。

1. 付属のベルクロストリップを L ブラケットに取り付けます。上部に 1 つ、下部に 2 つ、正面に大きなベルクロストリップを 1 つ取り付けます。
2. 接着カバーを取り外して L-ブラケットを LCD モニターに取り付けます。
3. HVC カメラを L-ブラケットの上部に取り付けます。



マイクの配置

マイクの最適な受信範囲は 3m 以内です。



HVC の使用方法

HVC の初回作動時、またはシステムをリセットすると、システムはすぐにクイックスタートメニューを表示します。[クイックスタート](#)を参照してください。

メニューと設定をナビゲートする



1. ホームメニューで、▶ と ◀ を押し、5 つのオプションを切り替えます。
2. オプションを確定するか、新しい設定を有効にするには、 を押します。

画面キーボードと数値パッドを使用する



1. ▲、▼、◀ および ▶ ボタンを使用してオプションを移動し、 を使用して確定します。
2. 操作を無効にして以前のホームメニューに戻るには、 を選択して  を押します。
3. 入力した文字または番号をすべて削除するには、 を選択し、 を押します。
4. 文字または番号を 1 つ削除するには、 を選択し、 を押します。
5. 操作結果を保存して有効にし、前のメニューに戻るには、 を選択し、 を押します。
6. 数値パッドについては、操作結果を保存して有効にして前のメニューに戻るには、リモコンで数値ボタンを使用し、 を選択して  を押します。 を押す前に、数値パッドで必ず  を押してください。



ホームメニュー画面

ホームメニュー画面には、Cam Ctrl (カメラコントロール)、Dial (ダイヤル)、Phonebook (電話帳)、Call History (通話履歴)、および Setting (設定) の 5 つの選択があります。HVC を起動すると、ホームメニュー画面が表示されます。▶ および ◀ ボタンを使用するだけでオプションを移動し、⌂ を押して選択を確定します。簡単に電話をかけ、Phonebook (電話帳)、Call History (通話履歴)、または Dial (ダイヤル) でサイトの連絡先を選択できます。また、管理者はシステム設定と WebTool アクセスの変更を防ぐために、セキュリティパスワードを設定することができます。



カメラコントロール

Cam Ctrl (カメラコントロール) では、電話をかける前にカメラの視角を調整することができます。

HVC カメラを調整するには

1. [Cam Ctrl (カメラコントロール)] を選択して ⌂ を押します。
画面はカメラ画像だけを表示し、ホームメニューを非表示にします。
2. リモコンを使用し、◀と ▶でパン、▲と▼でチルト、Zoom+/- でカメラ倍率を増減することができます。
3. ホームメニューをもう一度呼び出すには 🏠 を押し、前に戻るには ⏪ を押します。



ダイヤル

ダイヤルにより、IP アドレスを入力して電話をかけたり、通話品質を設定することができます。

ダイヤルを使用して電話をかけるには

1. [Dial (ダイヤル)] を選択して  を押します。画面に数値パッドが表示されます。

通話品質を設定するには、▲、▼、◀および ▶ ボタンを使用して選択ボックスで [Call Quality (通話品質)] ドロップダウンリストに移動し、 を押して値を選択します。

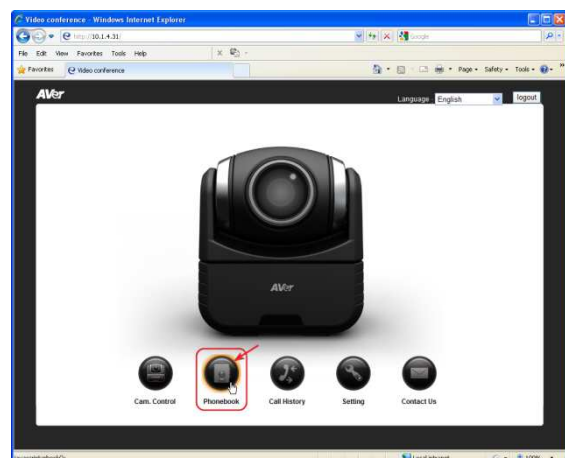


2. リモコンの数字ボタンで IP アドレスを入力し、 を押して電話をかけます。



電話帳

電話帳により、連絡先情報やグループの連絡先をカテゴリ別に保存、編集、削除し、連絡先を検索して電話をかけることができます。名簿にある連絡先のグループおよびサイトの名前は、アルファベット順に表示されます。また、WebTool を使用して電話帳の登録項目で作業を行うこともできます。



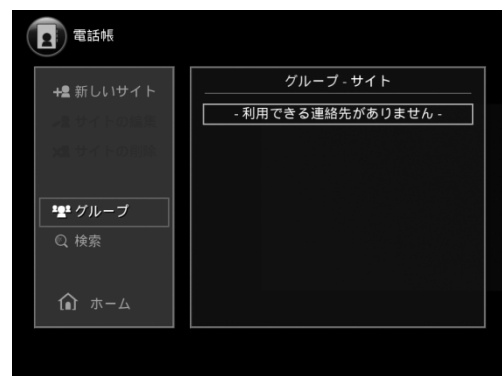
グループを追加するには

1. [Phonebook (電話帳)] を選択して  を押します。

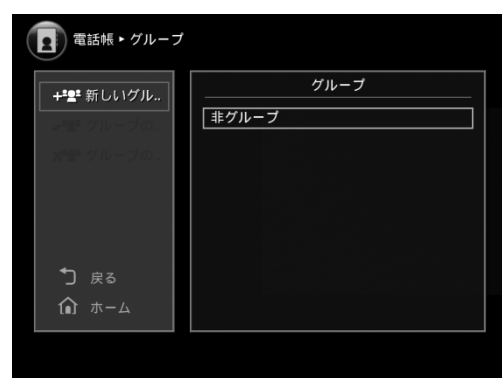


2. グループを選択して  を押します。

連絡先をグループ化する際に、連絡先を簡単に顧客、ベンダー、会社、支店などの特定のグループに分類できます。



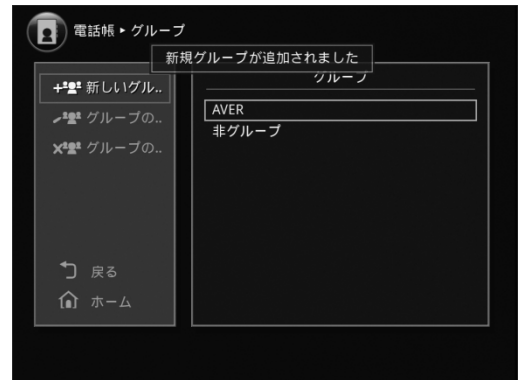
3. [New Group (新規グループ)] を選択して  を押します。



4. ▲、▼、◀、および ▶ ボタンを使用して、画面キーボードのオプションを移動し、 を使用して確定します。新しいグループ名を保存するには、 を選択して  を押します。



5. 新規グループ名が保存され、[Group (グループ)] リストに表示されます。



グループを編集するには

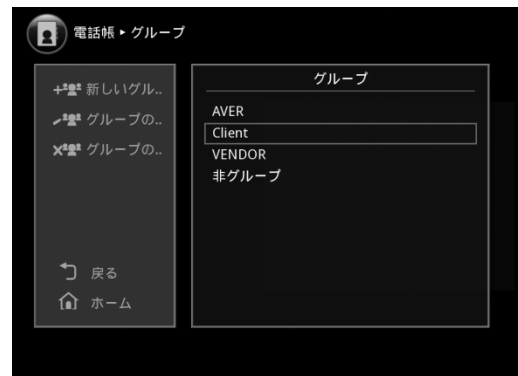
1. [Phonebook (電話帳)] を選択して を押します。



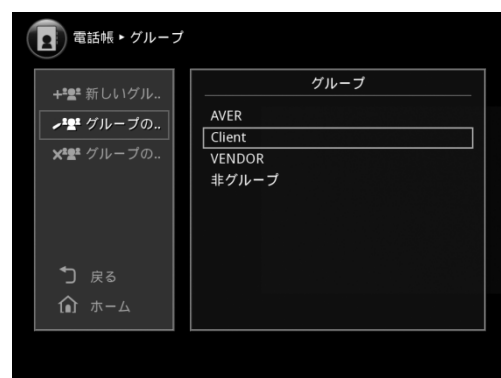
2. [Group (グループ)] を選択して を押します。



3. [Group (グループ)] リストで削除する名前を選択します。



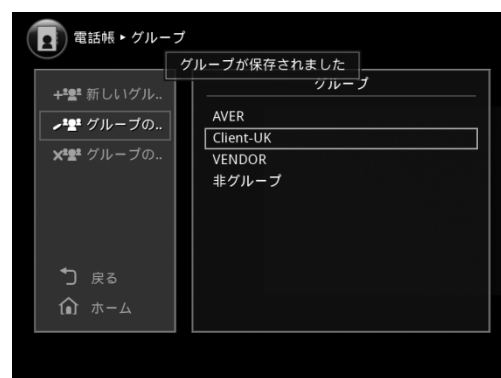
4. グループの編集を選択して  を押します。



5. ▲、▼、◀、および ▶ ボタンを使用して、画面キーボードのオプションを移動し、 を使用して確定します。  を選択して  を押し、変更したグループ名を保存します。



6. 変更したグループ名が保存され、グループリストに表示されます。



グループを削除するには

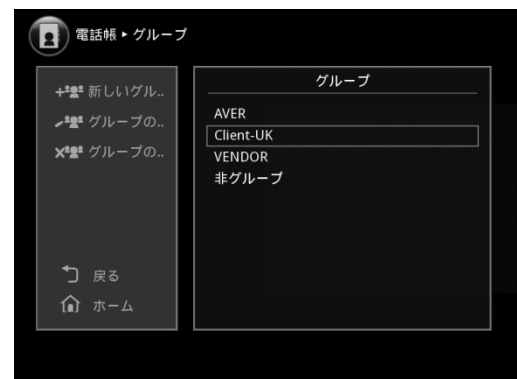
1. [Phonebook (電話帳)] を選択して  を押します。



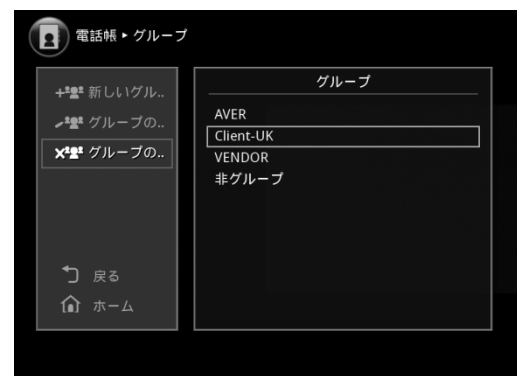
2. [Group (グループ)] を選択して  を押します。



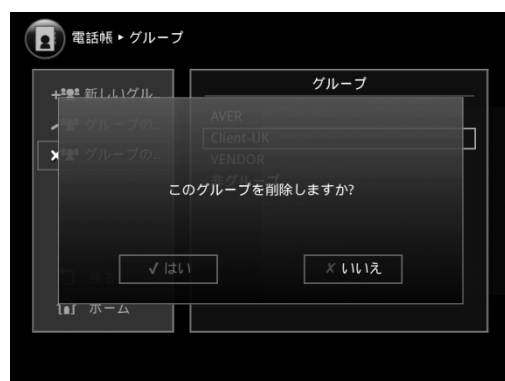
3. [Group (グループ)] リストで削除する名前を選択します。



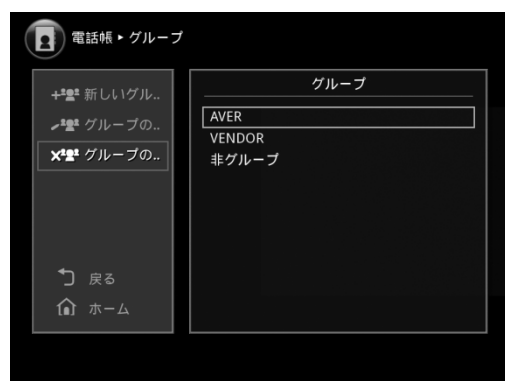
4. [Delete Group (グループの削除)] を選択して  を押します。



5. 「Yes (はい)」を選択して選択されたグループ名を削除し、「No (いいえ)」を選択してグループ名の削除をキャンセルします。



6. 削除すると、選択されたグループ名はもうグループリストに表示されません。

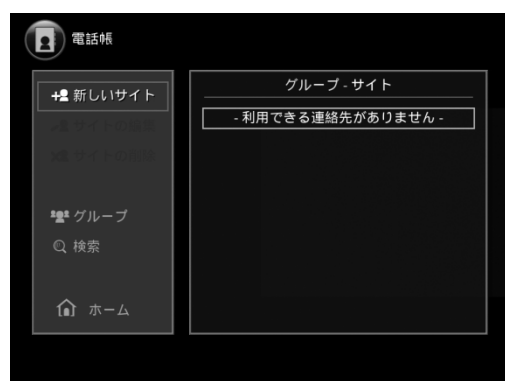


電話帳に登録項目を追加するには

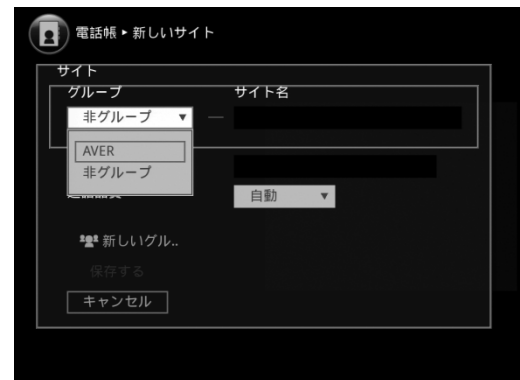
1. [Phonebook (電話帳)] を選択して  を押します。



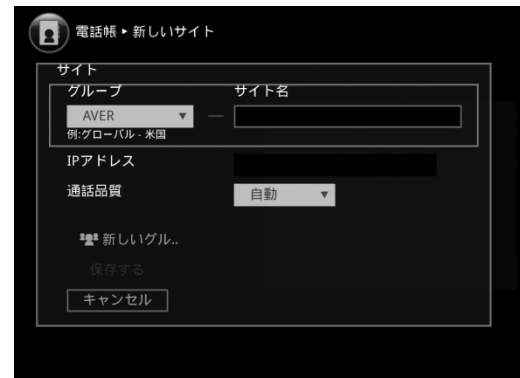
2. [New Site (新規サイト)] を選択して  を押します。



3. グループ名を選択します。



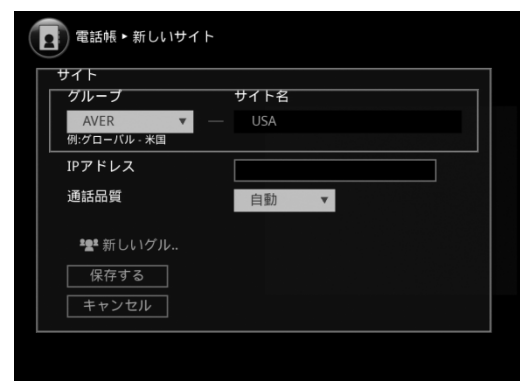
4. [Site Name (サイト名)] ボックスを選択して  を押します。



5. ▲、▼、◀、および ▶ ボタンを使用して、画面キーボードのオプションを移動し、 を使用して確定します。確定したあとに、 を選択して  を押し、新しいサイト名を保存します。



6. [IP address (IP アドレス)] ボックスを選択して  を押します。



7. リモコンで数値ボタンを使用して IP アドレスを入力し、

 を押して保存します。

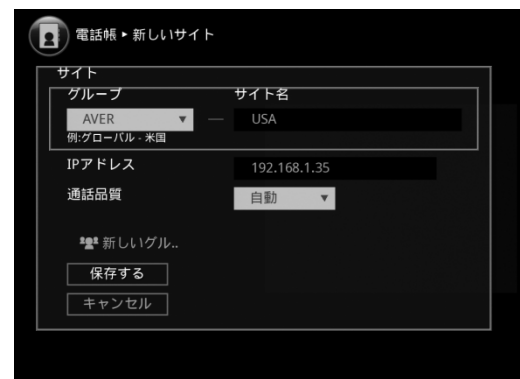


8. ドロップダウンボックスで通話品質の値を選択し、 を押します。

[Call Quality (通話品質)] で [Auto (自動)] が選択されている場合、[Auto Call Quality (自動通話品質)] の帯域幅設定が使用されます。



9. 新しく追加したサイトの連絡先を保存するには [Save (保存)] を選択し、連絡先の追加を元に戻すには [Cancel (キャンセル)] を選択します。



電話帳の登録項目を編集するには

1. [Phonebook (電話帳)] を選択して  を押します。



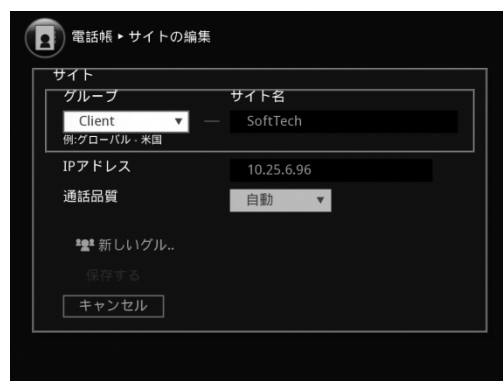
2. 変更する連絡先を選択します。



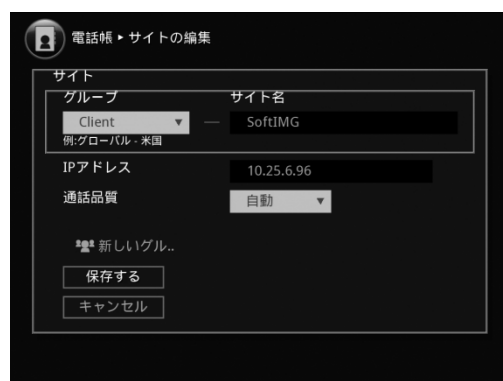
3. [Edit Site (サイトの編集)] を選択して  を押します。



4. [Phonebook (電話帳)] > [Edit Site (サイトの編集)] で
グループ名、サイト名、IP アドレス、および通話品質を変更
することができます。



5. 変更した後に、新しい変更を適用するには [Save (保存)] を選択し、変更を元に戻して電話帳メニューに戻るためには [Cancel (キャンセル)] を選択します。



6. 保存した変更は [Group-Site (グループ-サイト)] リストに表示されます。



電話帳の登録項目を削除するには

1. [Phonebook (電話帳)] を選択して  を押します。



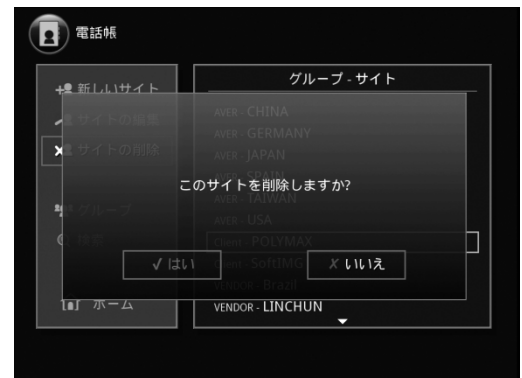
2. 削除する連絡先を選択します。



3. [Delete Site (サイトの削除)] を選択して  を押します。



4. 「Yes (はい)」を選択して選択されたグループ名を削除し、「No (いいえ)」を選択して連絡先の削除をキャンセルします。



5. 削除すると、選択した連絡先はもうグループ・サイトリストに表示されません。



通話履歴

通話履歴により、通話の着信と発信をチェックし、[Call History (通話履歴)] リストを選択することで電話をかけることができます。また、通話に応答があった、または接続に失敗した場合もを見つけることができます。

通話の着信/発信をチェックするには

1. [Call History (通話履歴)] を選択して  を押します。



2. [Call History (通話履歴)] では、IP アドレスやサイト名、通話の日時、通話状態を表示します。呼び出し状態をチェックするには以下の表を参照して下さい。

通話状態	応答	失敗
着信		
発信		

通話履歴

番号	サイト	日付	時刻	通話
1	10.1.4.48	2010/09/30	15:21	音→
2	10.1.4.48	2010/09/30	15:21	音→
3	10.1.4.48	2010/09/30	15:19	音→
4	10.1.4.48	2010/09/30	15:18	音→
5	TAIWAN	2010/09/30	15:15	音→
6	10.1.4.49	2010/03/11	12:32	音←
7	GERMANY	2010/03/09	13:07	音→
8	Brazil	2010/03/09	13:06	音→
9	10.1.2.49	2010/03/09	12:58	音→
10	10.1.2.121	2010/03/09	12:57	音→
11	Brazil	2010/03/09	12:53	音→

通話履歴から電話をかけるには

1. [Call History (通話履歴)] を選択して  を押します。

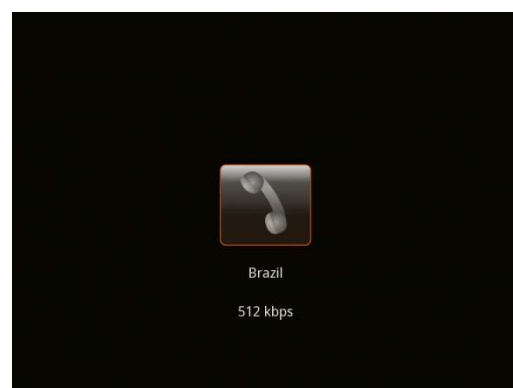


2. ▲ と ▼ ボタンを使用して選択対象を移動し、通話履歴リストを上下にスクロールして、 を押して電話をかけます。

通話履歴

番号	サイト	日付	時刻	通話
1	10.1.4.48	2010/09/30	15:21	音→
2	10.1.4.48	2010/09/30	15:21	音→
3	10.1.4.48	2010/09/30	15:19	音→
4	10.1.4.48	2010/09/30	15:18	音→
5	TAIWAN	2010/09/30	15:15	音→
6	10.1.4.49	2010/03/11	12:32	音←
7	GERMANY	2010/03/09	13:07	音→
8	Brazil	2010/03/09	13:06	音→
9	10.1.2.49	2010/03/09	12:58	音→
10	10.1.2.121	2010/03/09	12:57	音→
11	Brazil	2010/03/09	12:53	音→

3. 通話が接続されます。



設定

設定メニューでは、システム設定の変更、システム情報のチェック、HVC を使用する前のシステムのテスト、録画されたファイルの視聴を行うことができます。



管理者

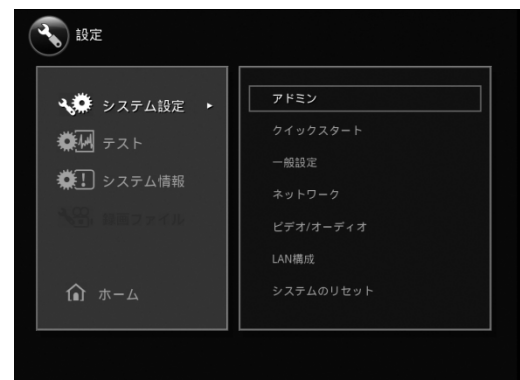
管理者はパスワードの設定を有効し、不正なユーザーがシステム設定を変更したり、WebTool および VCLink/ScreenShare にアクセスすることを防ぎ、VCLink/ScreenShare を使用してビデオ会議通話中にコンピュータデスクトップを共有することや WiFi を介して VCLink スマートフォンが HVC をコントロールすることを防ぐことができます。

管理者設定を有効または無効にする

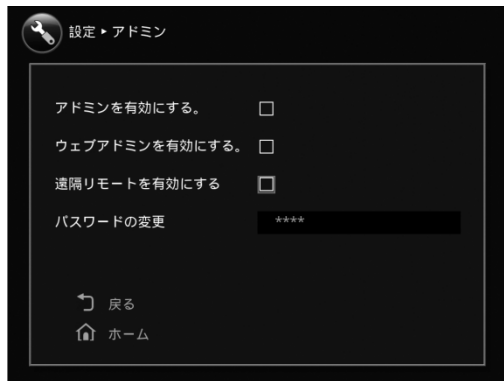
1. [Setting (設定)] を選択して  を押します。



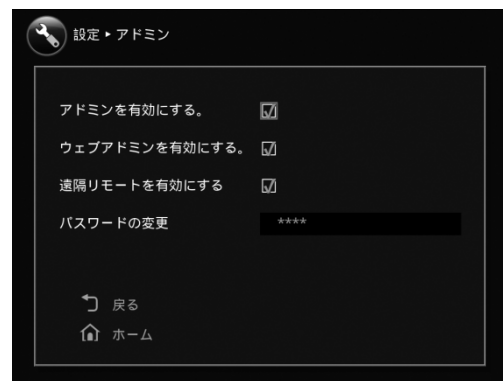
2. [Administrator (管理者)] を選択して  を押します。



3. システム設定変更の認証を有効または無効にするには [Enable Admin (アドミンを有効にする)] を選択して  を押し、WebTool 機能の使用を有効または無効にするには、[Enable Web Admin (ウェブアドミンを有効にする)] を選択し、WiFi をリモートおよびコンピュータとして使用して PC 画面を共有するには [Enable VCLink/ScreenShare (VCLink/ScreenShare を有効にする)] を選択します。

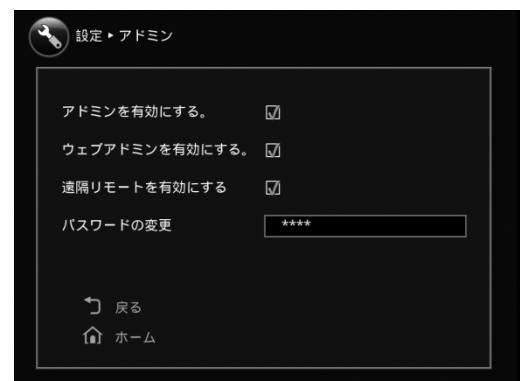


(有効にする)



(無効にする)

4. [Change Admin Password (管理者パスワードを変更する)] と [Change VCLink/ScreenShare Password (VCLink/ScreenShare パスワードを変更する)] でデフォルトのパスワードを必ず変更してください。



注意：デフォルトのパスワードは 1234 です。

5. ▲、▼、◀、および ▶ ボタンを使用して、画面キーボードのオプションを移動し、 を使用して確定します。パスワードを入力し終わったら、 を選択して  を押します。



6. 確認のために、もう一度パスワードを入力するよう求められます。



7. 入力したパスワードは保存されます。⌂を押して前のメニューに戻ります。



クイックスタート

HVC を初めて使用する場合、クイックスタートはシステムをセットアップする最も簡単な方法です。



HVC をセットアップするには

1. [HOME (ホーム)] メニューで [Setting (設定)] をクリックし、[System Settings (システム設定)] > [Quick Start (クイックスタート)] を選択します。

システムが管理者パスワードで保護されている場合は、[System Settings (システム設定)] を変更するためにパスワードを入力する必要があります。



2. [Quick Start (クイックスタート)] メニューでは、次の設定を変更できます。

言語

システム名

LAN 設定

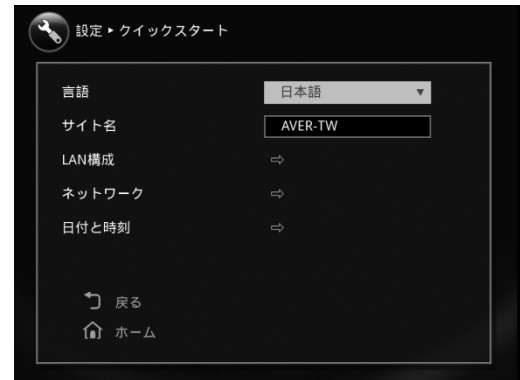
ネットワーク

日付と時刻



言語をセットアップするには

1. [Language (言語)] を選択して  を押します。
2. ▲ と ▼ ボタンと使用してお好みの言語を選択します。
3.  を押して、選択された言語にシステムを変えます。



システム名をセットアップするには

1. [System Name (システム名)] を選択して  を押します。



2. ▲、▼、◀、および ▶ ボタンを使用してカーソルを移動し、 を使用して確定します。
3.  を選択して  を押し、操作結果を保存して有効にし、前のメニューに戻ります。



電話をかけたあと、または電話が応答されたあと、システム名が 5 秒間画面に表示されます。

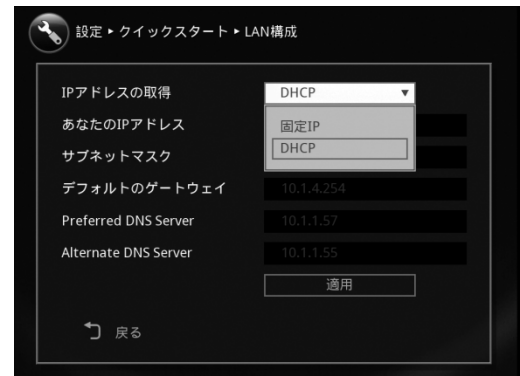
LAN 設定

1. [LAN Configuration (LAN 設定)] を選択して  を押します。



2. [Obtain IP Address (LAN 設定の取得)] を選択して IP のタイプを選択し、 を押します。

- **DHCP** – DHCP サーバーから IP アドレスを自動的に取得するためにシステムを構成します。
- **Static IP (固定 IP)** – 割り当てられた IP アドレスを使用するためにシステムを構成します。パブリック IP アドレスが利用可能な場合には、これを選択します。
- **Your IP address (あなたの IP アドレス)** – 現在の IP アドレスを示しています。IP アドレスを手動で設定する必要がある場合に情報を入力します。
- **Subnet Mask (サブネットマスク)** – 指定された IP アドレスのルーティングプリフィックスを示します。システムがサブネットマスクを自動的に取得しない場合に、情報を入力します。
- **Default Gateway (デフォルトゲートウェイ)** – ネットワークのテレビ会議の設置ポイントと出口ポイントからのトラフィックを可能にします。システムが自動的にゲートウェイを取得しない場合、情報を入力します。



3. [Apply (適用)] を選択し、 を押して設定を保存します。



ネットワークをテストするには

1. [Network (ネットワーク)] を選択して  を押します。
[Network (ネットワーク)] のオプションでネットワーク設定を設定することもできます。[Setting (設定)] > [System Settings (システム設定)] > [Network (ネットワーク)] に移動します。



2. 最大の送信帯域幅および受信帯域幅を選択し、 を押して選択を確定します。
- **Max. Transmitting/Receiving Bandwidth (最大送信/受信帯域幅)** – 発信と着信の最大通話帯域幅を指定することができます。HVC システムは最大 4Mb をサポートします。
 - **Auto Call Quality (自動通話品質)** – デフォルトの発信と着信帯域幅を選択することができます。[Call Quality (通話品質)] 設定で [Auto (自動)] が選択されている場合に、この設定が使用されます。



日付と時刻をセットアップするには

1. [Date and Time (日付と時間)] を選択して  を押します。

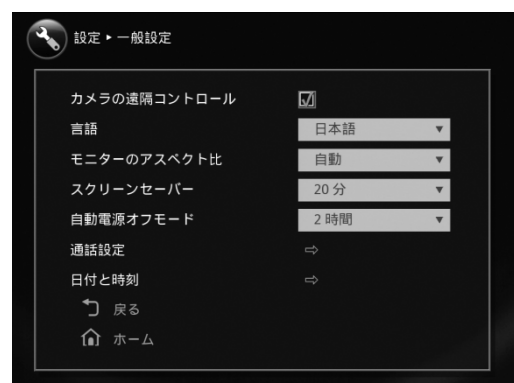


2. お望みの [Date and Time (日付と時刻形式)] を選択し、日付と時刻の値を入力します。



一般設定

一般設定では、[Far Control of Near Camera (カメラの遠隔コントロール)] を有効/無効にして遠隔サイトによる自拠点のカメラの制御を可能にしたり、システム言語を選択したり、2 時間使用しない場合にスタンバイモードに切り替えるよう [Auto Power-off (自動電源オフ)] モードを有効または無効にしたり、ディスプレイ設定を変更したり、着信した通話を自動的に応答/拒否するようシステムを設定したり、あるいはシステムの日付と時刻を設定することができます。

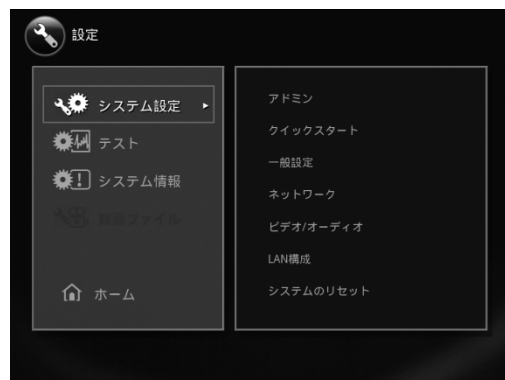


カメラの遠隔コントロールを有効または無効にするには:

1. [Setting (設定)] を選択して  を押します。



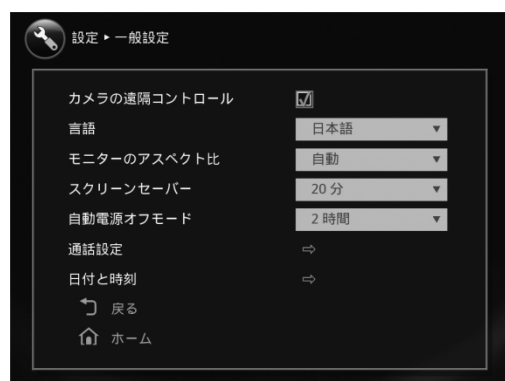
2. [System Settings (システム設定)] を選択します。



3. [Setting (設定)] を選択して  を押します。



4. [System Settings (システム設定)] を選択します。



一般設定で言語をセットアップするには

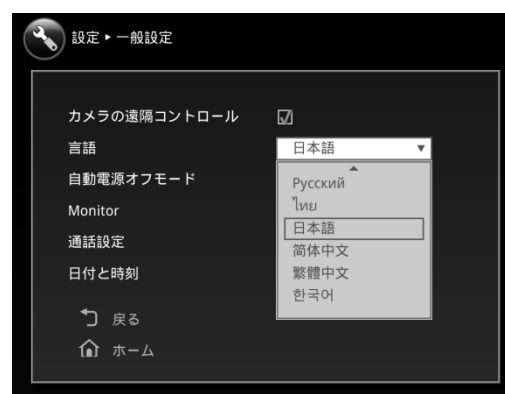
1. [Setting (設定)] を選択して  を押します。



2. [System Setting (システム設定)] > [General Setting (一般設定)] を選択して  を押します。

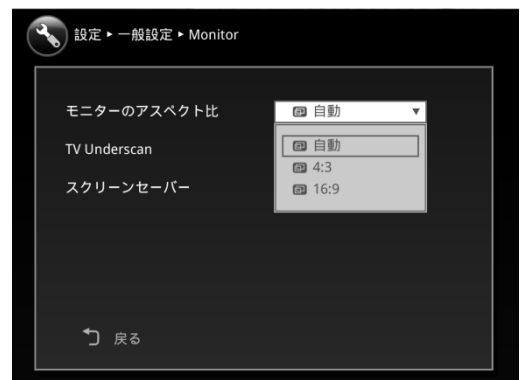
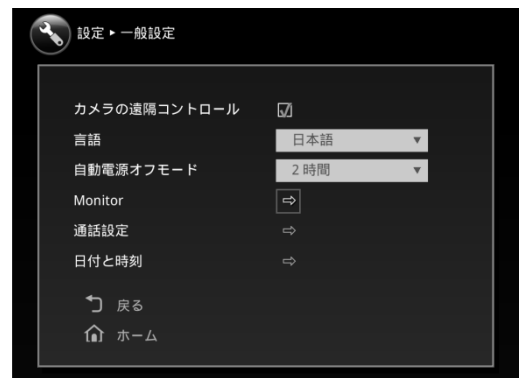


3. [Language (言語)] を選択して  を押し、言語リストを表示します。 ▲ および ▼ ボタンを使用し、 を押して選択します。

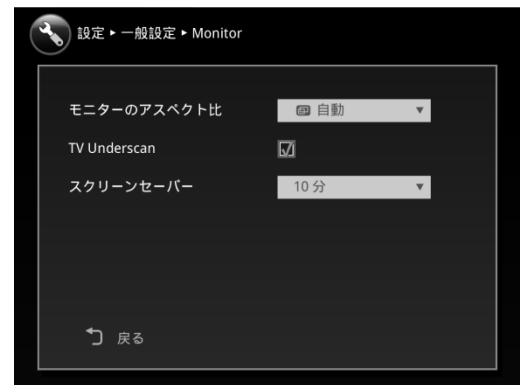


モニターのアスペクト比を設定するには

1. [Setting (設定)] を選択して  を押します。
2. [General Setting (一般設定)] > [General Setting (一般設定)] を選択して  を押します。
3. [System Setting (システム設定)] > [General Setting (一般設定)] を選択して  を押します > Monitor を選択して  を押します。
4. [Monitor Aspect Ratio (モニターのアスペクト比)] ドロップダウンボックスを選択して  を押します。お使いのディスプレイ装置に適したアスペクト比を選択します。システムに自動的に正しい設定を検出させる場合、[Auto (自動)] を選択します。  を押して選択を確定します。



5. [TV Underscan (TV アンダースキャン)] を有効/無効にして画像を縮小し、HDMI ビデオ出力を使用するときに黒い境界線を表示します。



6. [Screen Saver (スクリーンセーバー)] ドロップダウンボックスを選択して ⌚ を押します。そのあと、システムが自動的にスタンバイモードに切り替える時間を選択するか、[OFF (オフ)] を選択してこの機能を無効にします。⌚ を押して選択を確定します。



システムがスタンバイモードに入ると、画面は黒くなります。リモートでボタンをどれか押すと、システムが起動します。

通話設定

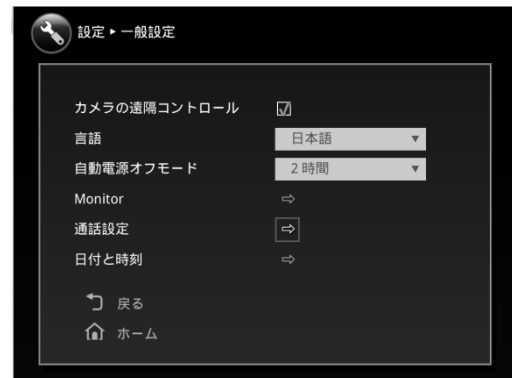
通話設定では、相手がユーザーを識別できるよう通話中の画面に表示される HVC サイト名を入力または変更したり、システムを設定して通話への応答を有効/無効にしたり、SIP (Session Initiation Protocol) 設定を設定したり、データを暗号化して不正なデータアクセスから保護する AES (Advanced Encryption Standard) を有効/無効にすることができます。

自動応答設定を設定するには

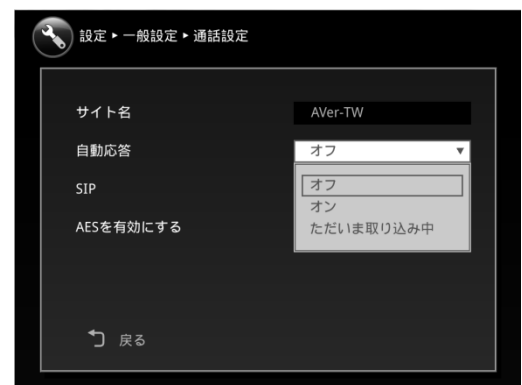
1. [Setting (設定)] を選択して ⌚ を押します。



2. [System Setting (システム設定)] > [General Setting (一般設定)] > [Call Settings (通話設定)] を選択し、 を押します。



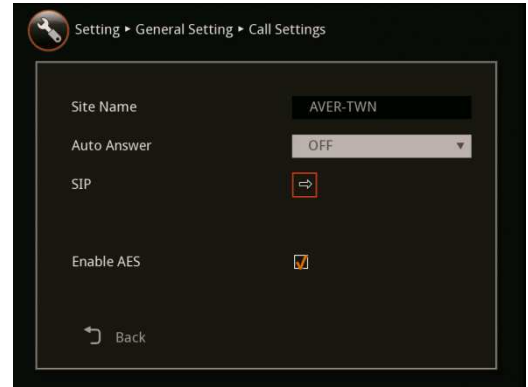
3. [Auto Answer (自動応答)] を選択して  を押します。[Auto Answer (自動応答)] メニューで [OFF (オフ)] を選択すると [Auto Answer (自動応答)] が無効になり、[ON (オン)] を選択すると通話に自動応答し、[Do Not Disturb (ただいま取り込み中)] を選択すると着信した通話を自動的に拒否します。



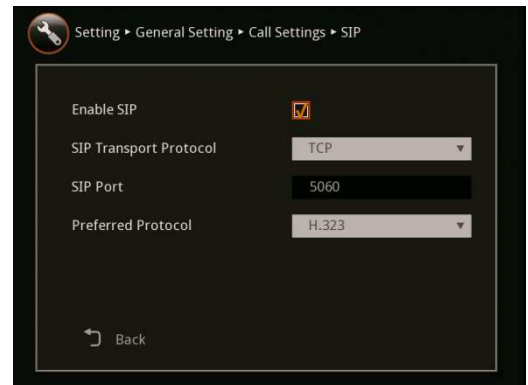
すでにミーティングに参加中の場合、[Auto Answer (自動応答)] がオンになっていても、次の通話を手動で受け付ける必要があります。

SIP (Session Initiation Protocol) を設定するには

1. [Setting (設定)] > [System Settings (システム設定)]
> [General Setting (一般設定)] > [Call Settings (通話設定)] > [SIP] を選択して  を押します。

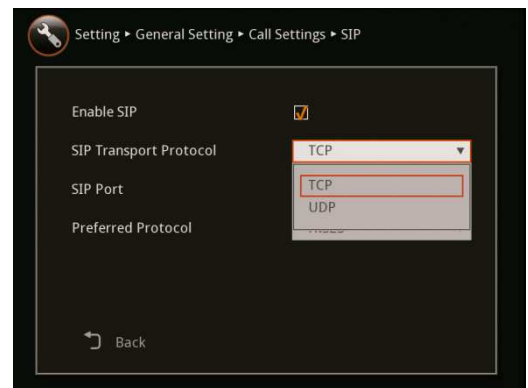


2. [Enable SIP (SIP を有効化)] チェックボックスを選択し、
 を押して SIP の使用を有効/無効にします。



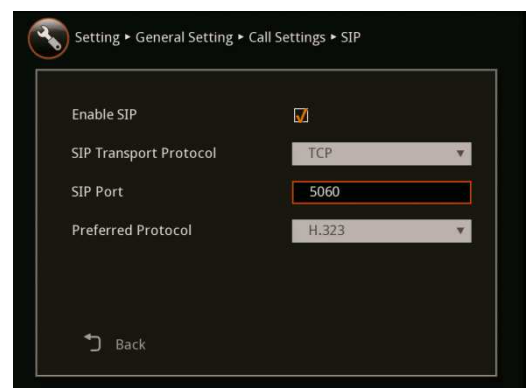
3. [SIP Transport Protocol (SIP トランスポートプロトコル)] を選択し、トランスポートプロトコルのタイプを選択します。

確実に接続するため、双方の通話者が同じトランスポートプロトコルを使用しているか確認してください。デフォルト設定は UDP です。

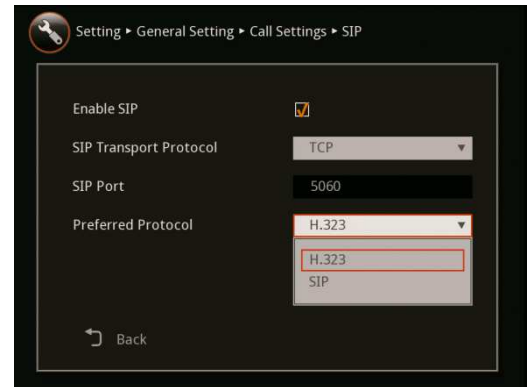


4. [SIP Port (SIP ポート)] を設定します。

ネットワークシステムで特定の設定を使用する場合にのみこの値を変更してください。デフォルトの SIP ポート設定は 5060 です。



5. [Preferred Protocol (優先プロトコル)] を選択し、最初に優先するプロトコルとしてシステムに使用させるタイプを選択します。システムが通話を確立できない場合には、他のタイプが選択されます。

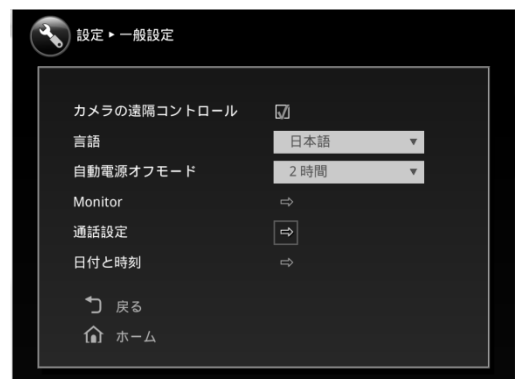


AES (Advanced Encryption Standard) を有効または無効にするには

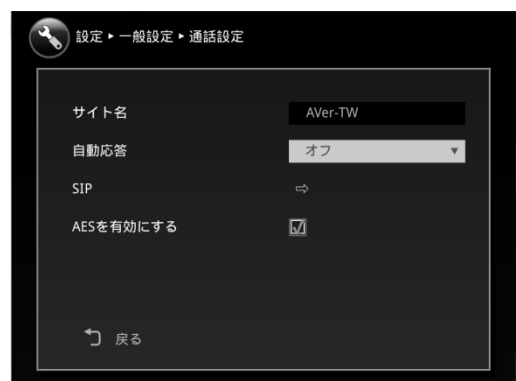
AES (Advanced Encryption Standard) は、ビデオ会議中に送信されるデータを暗号化し、不正なデータアクセスに対する高度の保護を提供し、この規格に対応するデバイスでのみ読み込むことができます。相手方は、この機能を使用できるように AES をサポートする必要があります。サポートしない場合、データはコード化されません。



AES を作動させるには、[Home (ホーム)] メニュー > [System Settings (システム設定)] > [General Setting (一般設定)] > [Call Settings (通話設定)] > [Enable AES (AES を有効にする)] の設定を選択して、 を押して機能を有効/無効にします。

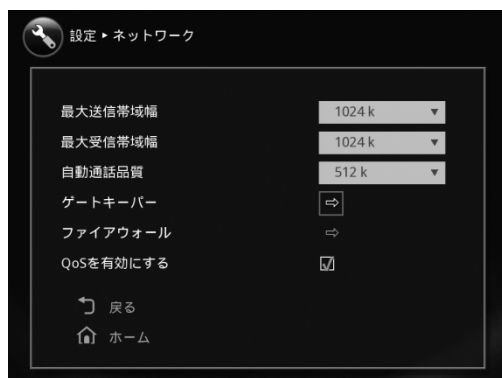


一部の国ではこの機能は制限されており、使用することができません。



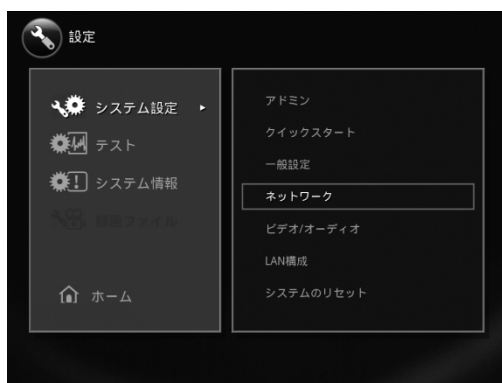
ネットワーク

ネットワークでは、ネットワークの帯域幅、自動通話品質、ゲートキーパーおよびファイアウォールの設定が可能です。

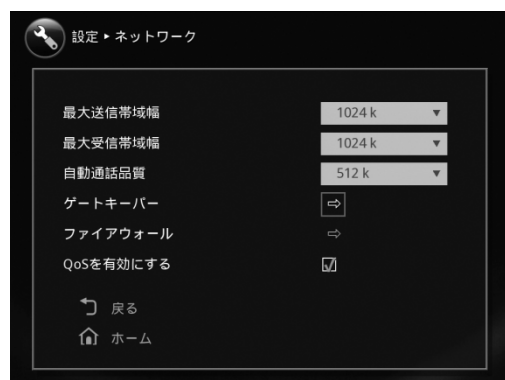


ゲートキーパーを設定するには

1. [Setting (設定)] > [System Settings (システム設定)] > [Network (ネットワーク)] を選択して  を押します。



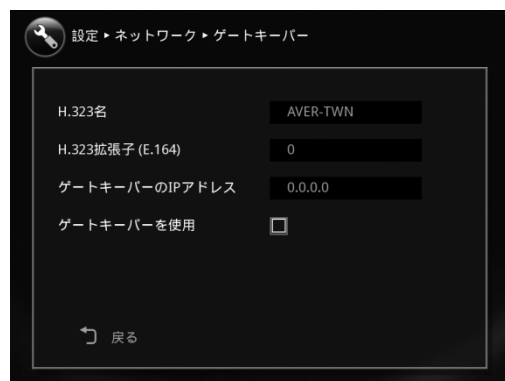
2. [Gatekeeper (ゲートキーパー)] を選択して  を押します。



3. HVC のゲートキーパーは H.323 ネットワーク内で E.164 ID を IP アドレスに変換します。

以下を選択してゲートキーパーを設定してください。

- **H.323 name (H.323 名):** ゲートキーパーはこの名前を使用してシステムを識別します。
- **H.323 Extension (H.323 拡張) (E.164):** システムの識別に使用する数字データをゲートキーパーに入力してください。
- **Gatekeeper IP Address (ゲートキーパーIP アドレス):** ゲートキーパーのサーバー用の IP アドレスを入力してください。
- **Use Gatekeeper (ゲートキーパーの使用):** ゲートキーパーを有効/無効にします。

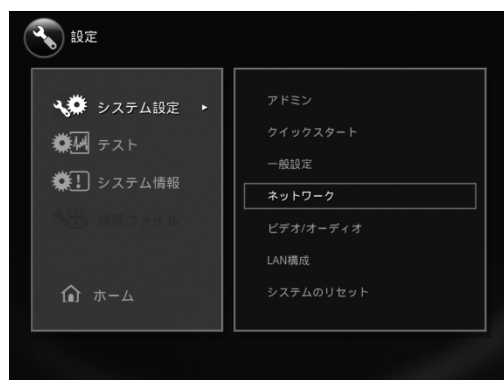


ファイアウォールを設定するには

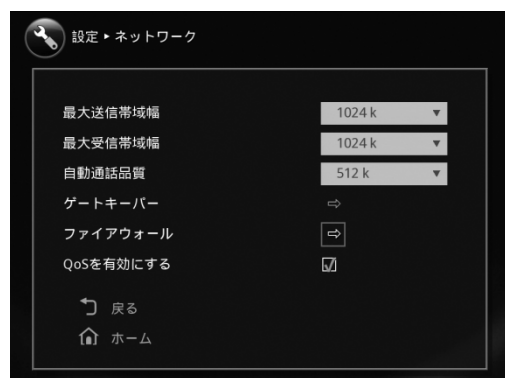


ファイアウォールを設定する前にゲートキーパーを必ず設定してください。

1. [Setting (設定)] > [System Settings (システム設定)] > [Network (ネットワーク)] を選択して  を押します。



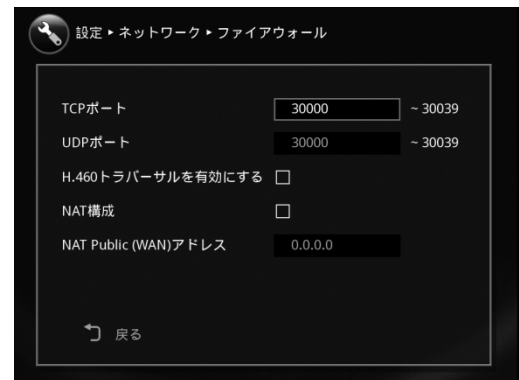
2. [Firewall (ファイアウォール)] を選択して  を押します。



3. HVC は H.323 通話のファイアウォールトラバーサルをサポートします。

以下を選択してファイアウォールを設定してください。

- **TCP/UDP ports (TCP/UDP ポート):** デフォルトではシステムは TCP/UDP ポート範囲 **30000~30039** で通信します。この範囲はネットワーク環境に合わせて指定することができます。



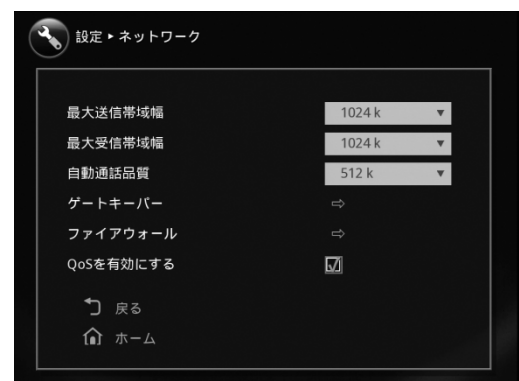
注意: H.323 通話設定では、着信/発信のトラフィックが TCP ポート 1720/1719 を通過できるようにファイアウォールを設定する必要があります。

- **Enable H.460 Firewall Traversal (H.460 ファイアウォール トラバーサルの有効化):** ゲートキーパーはこの機能をサポートする必要があり、ゲートキーパーをシステム専用として登録してください。
- **NAT Configuration (NAT 設定):** HVC は、内部 IP アドレスを使用して LAN の外部のデバイスと通信する NAT システムをサポートします。
- **NAT Public (WAN) Address (NAT パブリック (WAN) アドレス) :** NAT パブリックアドレスは NAT 設定の機能を有効にした時に入力する必要があります。

QoS 品質の有効/無効化

Quality of Service (クオリティ・オブ・サービス) は、別の優先的なデータフローを提供するか、ビデオ会議のデータフローをある一定レベルのパフォーマンスに保証します。

QoS を有効にするには、ホームメニューで [System Settings (システム設定)] > [Network (ネットワーク)] > [Enable QoS (QoS を有効にする)] を選択し、 を押して機能を有効または無効にします。



ビデオ/オーディオ

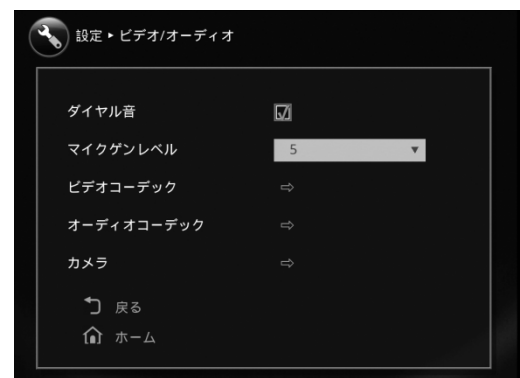
ビデオオーディオ設定では、ダイヤル音の有効/無効化、マイクゲインレベルの設定、優先的ビデオとオーディオコーデックの選択が可能です。

ダイヤル音を有効/無効にするには

1. [Setting (設定)] > [System Settings (システム設定)] > [Video/Audio (ビデオ/オーディオ)] を選択して  を押します。



2. [Keypad Tone (ダイヤル音)] チェックボックスを選択して  を押します。この設定は、リモコンでダイヤルする時に聞こえるトーン音を有効または無効にします。



カメラのホワイトバランス/露出/周波数を設定するには

1. [Setting (設定)] > [System Settings (システム設定)] > [Video/Audio (ビデオ/オーディオ)] を選択して  を押します。



2. [Camera (カメラ)] を選択して、 を押します。



3. [White Balance (ホワイトバランス)] ドロップダウンボックスを選択して  を押します。その後適切なモードタイプを選択して  を押します。



4. [Exposure (露出)] ドロップダウンボックスを選択して  を押します。その後適切な露出レベルを選択して  を押します。



5. [Frequency (周波数)] ドロップダウンボックスを選択して  を押します。その後適切な周波数設定を選択して  を押します。



マイクゲインレベルおよびマイク入力ソースを設定するには

1. [Setting (設定)] > [System Settings (システム設定)] > [Video/Audio (ビデオ/オーディオ)] を選択して  を押します。



2. マイクを選択して  を押します。



3. [Mic Gain Level (マイクゲインレベル)] を選択して  を押します。マイクゲインレベル (最大 9) を選択します。

HVC は適切なマイク音量にマイクゲインレベルを調節して、マイクの感度を高めることができます。



4. [MIC Through (マイクスルー)] を選択して  を押します。マイクのソースを選択します。MIC を AUDIO IN ポートに接続する場合、[Audio in (オーディオ入力)] を選択してエコー音を防ぐことを推奨します。



ビデオ/オーディオコーデックを指定するには

1. [Setting (設定)] > [System Settings (システム設定)] > [Video/Audio (ビデオ/オーディオ)] を選択して  を押します。



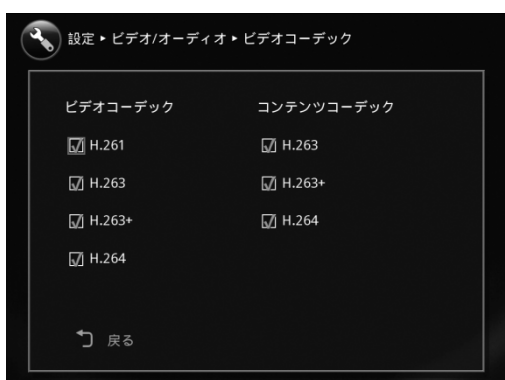
2. [Video/Audio Codecs (ビデオ/オーディオコーデック)] を選択して  を押し、サポートするコーデックを指定します。

HVC は H.323 の標準コーデックアルゴリズムをサポートしています。それぞれのコーデックは固有の特性があり、特定の環境で最適な機能を発揮します。

ビデオ用: H.264, H.263+, H.263, H.261

音声用: G.728, G.722.1C, G.722.1, G.722, G.711

これらのコーデックについてのご質問は、システム管理者にお問い合わせください。

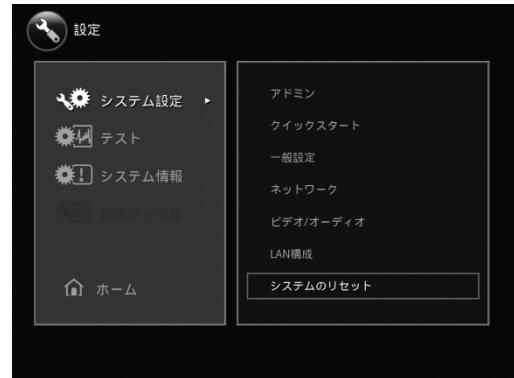


システムのリセット

システムのリセットにより、システムを工場出荷時の設定に復元し、電話帳のエントリおよび通話履歴を消去することができます。システムをリセットする前に必ず情報をバックアップしてください。

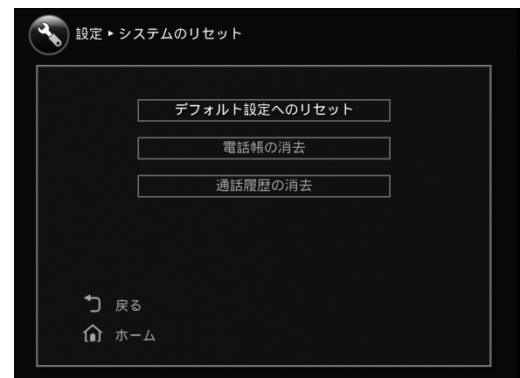
システムをリセットするには

1. [Setting (設定)] > [System Settings (システム設定)] > [Reset System (システムのリセット)] と選択して  を押します。



2. システムのリセット、電話帳の消去、または通話履歴の消去のオプションから選択します。

- **Default Setting Reset (デフォルト設定へのリセット):**
LAN 設定、ビデオ/オーディオコーデック選択および通話設定をリセットできます。
- **Clear phonebook (電話帳の消去):** システムに保存されたすべての電話帳の登録項目が削除されます。
- **Clear Call History (通話履歴の消去):** すべての着信と発信の通話記録が削除されます。



カメラのプリセットポイントを設定する

ビデオ会議時またはそれ以前に、カメラのプリセットポイントを設定することができます。

カメラのプリセットポイントを設定するには:

1. HVC 起動して [Home (ホーム)] メニューを表示します。
[Cam Ctrl (カメラコントロール)] を選択してカメラの視角を調整します。
2. リモコンで ▲、▼、◀、▶ と [Zoom (ズーム) +/-] ボタンでカメラを適切な視角に調節します。
3. リモコンの [PRESET (プリセット)] ボタンを 3 秒間押し続けて、プリセットポイントのカメラ位置を保存します。
4. カメラのプリセットポイントを呼び出すには [PRESET (プリセット)] を押します。



ネットワークをテストする

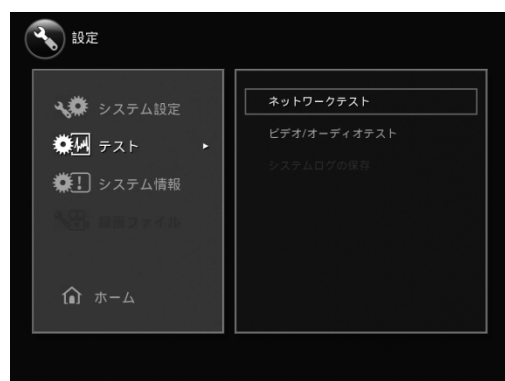
この機能は、ローカルエリアと遠隔サイト間のネットワーク能力をテストします。さらにオーディオとビデオの応答もテストします。

ネットワークをテストするには:

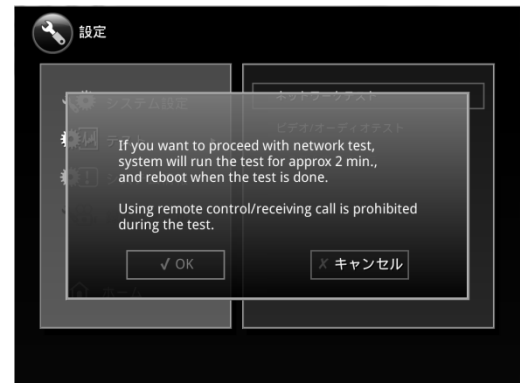
1. [Home (ホーム)] メニューで [Setting (設定)] をクリックします。



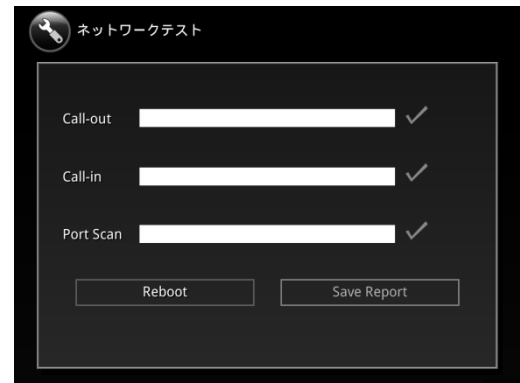
2. [Test (テスト)] > [Network Test (ネットワークテスト)] を選択します。



3. [OK] を選択して続行し、[Cancel (キャンセル)] を選択してこの操作を停止します。⌂ を押して選択を確定します。



4. ネットワークテストが終了するまで待ってください。ネットワークテストに合格するとチェックマークが表示されます。テストに不合格の場合には、レポートを USB フラッシュドライブに保存して当社の技術サポートにお問い合わせください。

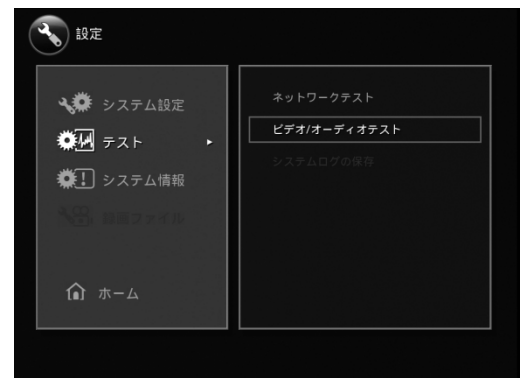


ビデオとオーディオをテストするには:

1. [Home (ホーム)] メニューで [Setting (設定)] をクリックします。



2. [Test (テスト)] > [Video/Audio (ビデオ/オーディオ)] を選択します。



3. 2つの同じ画像を見ることができますが、これはビデオが正常に機能していることを示しています。スピーカーとマイクをテストするには、マイクで話してみます。自分の声が聞こえれば、スピーカーとマイクが正常に機能しています。

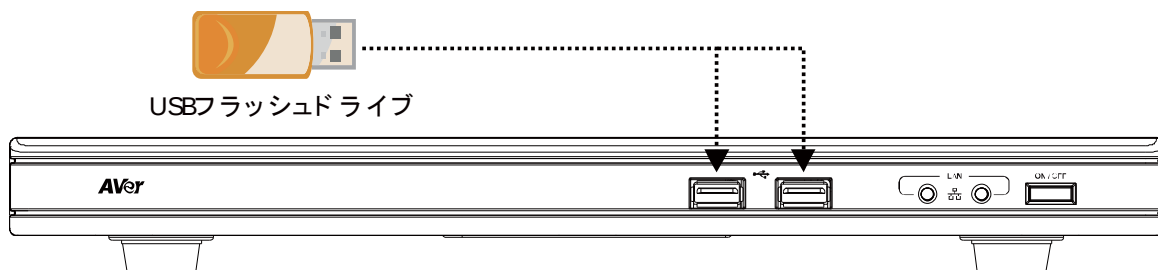
⏮ を押して終了します。



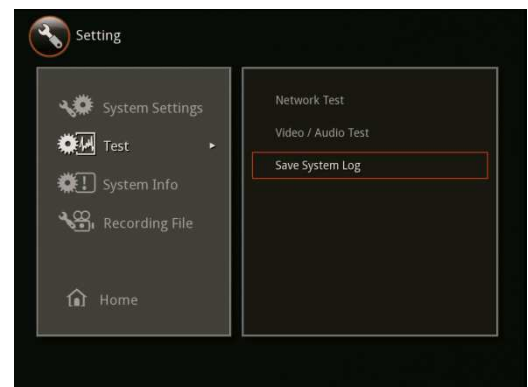
システムログを保存、送信するには:

装置が原因不明の状態になり、トラブルシューティングの仕方が分からない場合は、保存されたシステムのログデータを当社に送信してください。当社でその問題を分析して必要な解決方法を提供することができます。

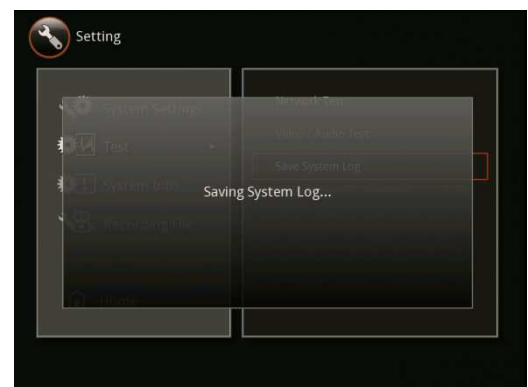
1. USB フラッシュドライブを AVer System の USB ポートに挿入します。



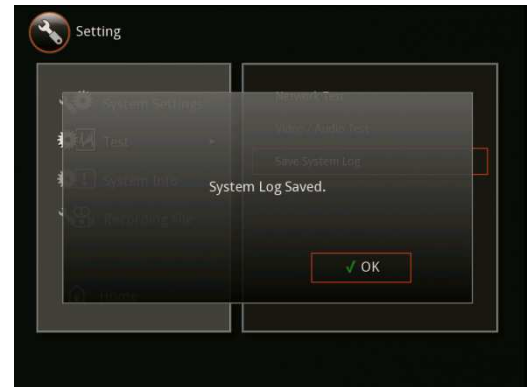
2. [Home (ホーム)] メニューで [Setting (設定)] > [Test (テスト)] > [Save System Log (システムログの保存)] をクリックして、⏮ を押します。



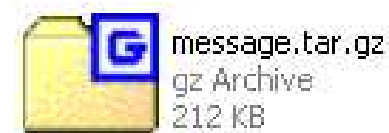
3. システムログは USB フラッシュドライブに保存されます。



4. ファイルが保存されたら  を押します。



5. USB フラッシュドライブを取り外して、コンピュータの USB ポートに挿入します。message.tar.gz ファイルを指定して、それをテクニカルサポートチームに送信します。

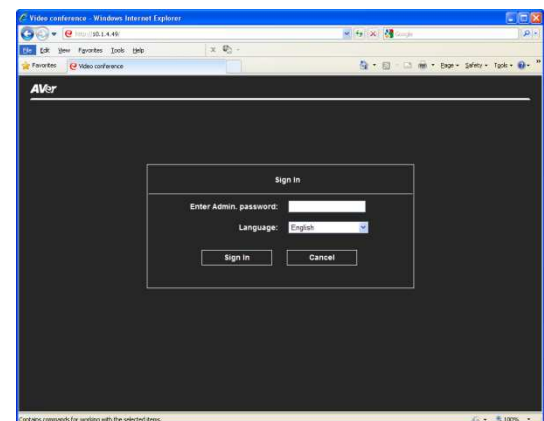


WebTool を利用して HVC システムを管理する

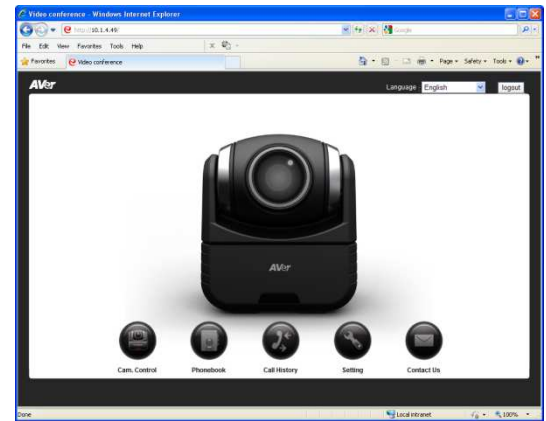
WebTool で遠隔サイトからインターネットのブラウザを利用し、HVC システムにアクセスできます。電話帳にアクセスして登録項目を追加、編集、および登録したり、通話履歴にアクセスして履歴を見て電話帳の登録項目に通話データを追加したり、システムアップデートにより HVC をアップデートしたり、システムの復元により HVC をバックアップして以前の設定に復元することができます。さらに、当社のテクニカルサポートに連絡してサポートを得ることもできます。

インターネットブラウザを使用して HVC にアクセスするには：

1. インターネットブラウザのアドレスバーに IP アドレスを入力します。システムが管理者パスワードで保護されている場合は、サインインするためにパスワードを入力する必要があります。

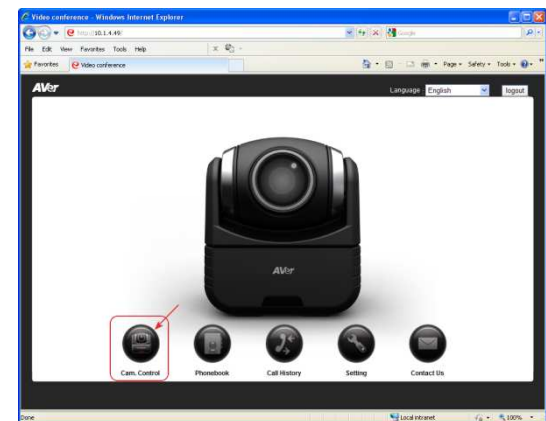


2. WebTool のページから Phonebook (電話帳)、Call history (通話履歴)、System Update (システムアップデート)、および System Restore (システムの復元)にアクセスできます。



WebTool でカメラ制御を使用するには

1. WebTool のページで [Cam. Control (カメラ制御)] をクリックします。

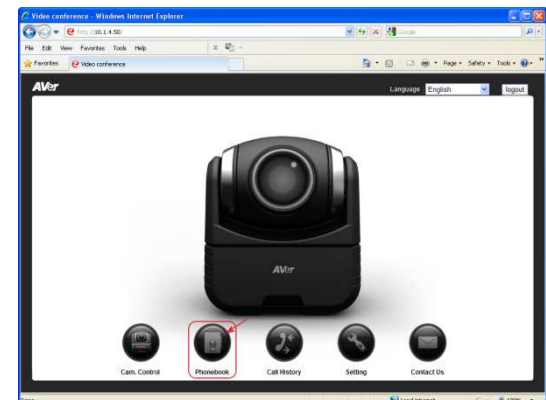


2. ビデオ画面とリモコンが表示されます。画面とリモコンのボタンを、HVC を普通に使用する場合と同様にすべて使用することができます。WebTool のメインページに戻るには  をクリックします。

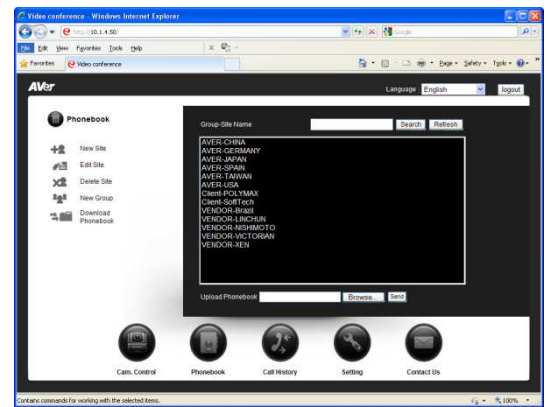


WebTool で電話帳に追加、編集、および削除を行うには:

1. WebTool のページで [Phone book (電話帳)] をクリックします。

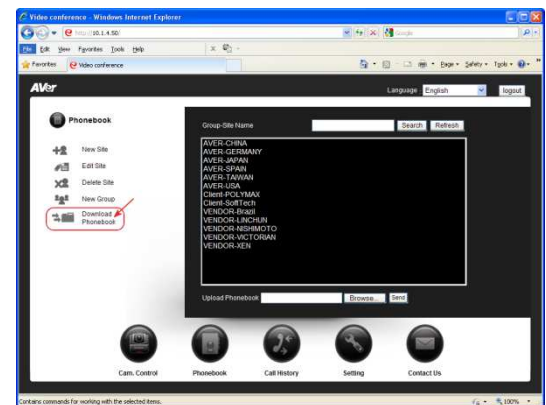


2. [Phone book (電話帳)] のページで [New Site (新しいサイト)]、[Edit Site (サイトの編集)]、[Delete Site (サイトの削除)] および [Group (グループ)] をクリックして、電話帳の登録項目に作業を行うことができます。さらに電話帳の登録項目をダウンロードして別の HVC 装置にアップロードすることもできます。保存したファイルはマイクロソフトの Excel で編集できます。



WebTool で電話帳の登録項目をダウンロードするには:

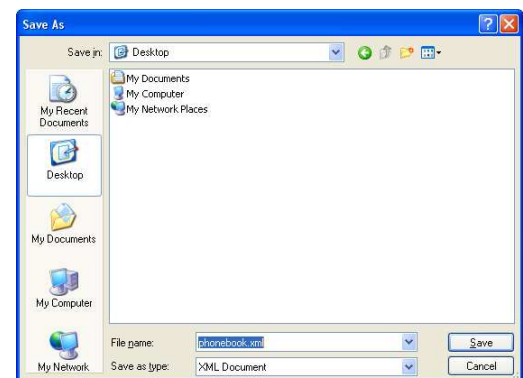
1. [Download (ダウンロード)] をクリックして電話帳の登録項目をダウンロードします。



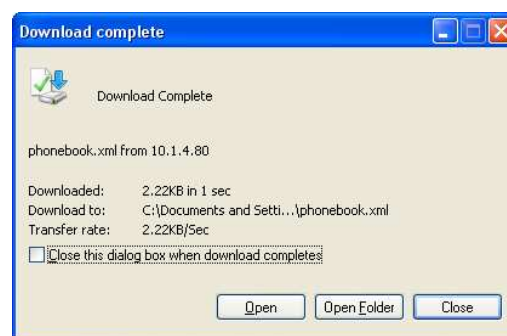
2. [Open (開く)]、[Save (保存)] および [Cancel (取り消し)] が表示されます。[Save (保存)] をクリックします。



3. ファイルを保存する場所を指定します。[Save (保存)] をクリックします。



4. ダウンロードが完了すると、ファイルを開くか、メッセージボックスを閉じるよう求めるメッセージが表示されます。

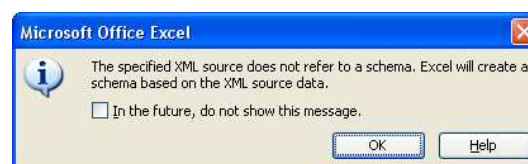


ダウンロードした電話帳の登録項目を編集、保存するには：

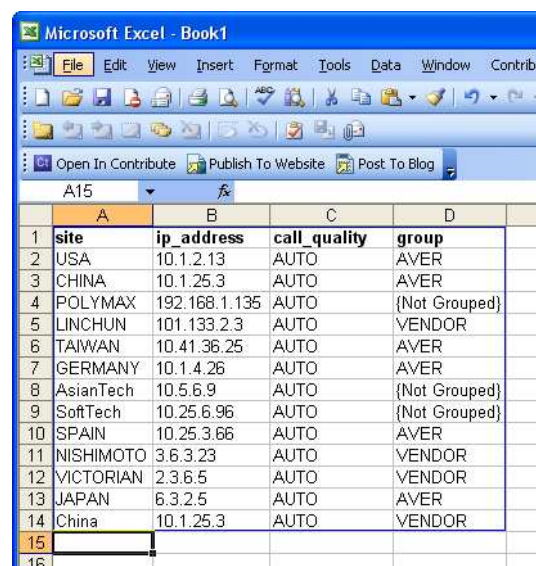
1. マイクロソフトの Excel を使用してファイルを見つけて開き、[As an XML list (XML リストとして)] を選択します。[OK] をクリックします。



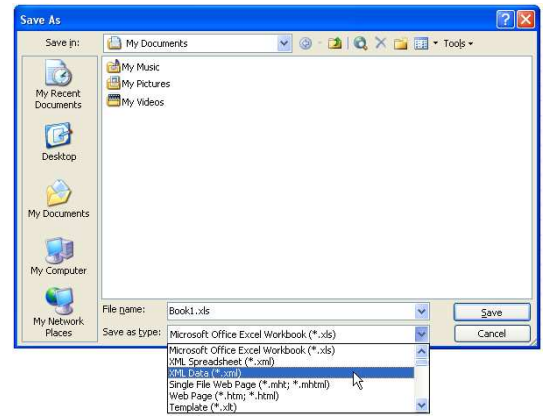
2. [OK] をクリックして、XML ソースデータによるスキーマを作成します。



3. これでファイルを編集できます。

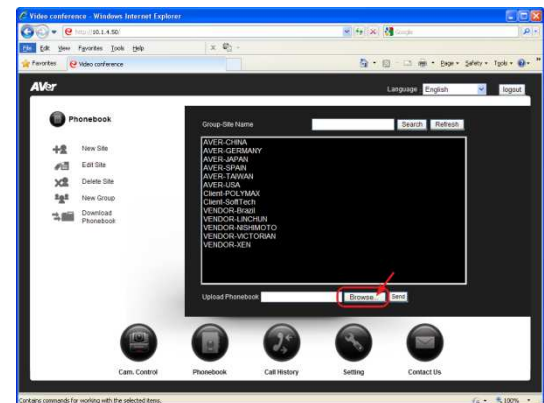


4. ファイルをシステムにアップロード可能にするために、ファイルを必ず XML データとして保存してください。

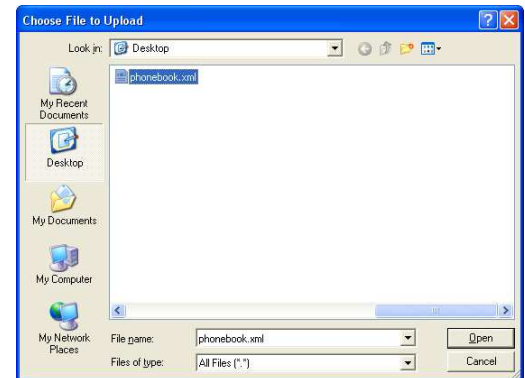


WebTool で電話帳の登録項目をアップロードするには：

1. [Browse… (参照)] をクリックし、アップロードする電話帳の登録項目の xml ファイルを見つけます。



2. xml ファイルを選択して [Open (開く)] をクリックします。



3. [Upload (アップロード)] をクリックします。



4. [OK] をクリックして、システムにある既存の電話帳を新しいものと交換します。

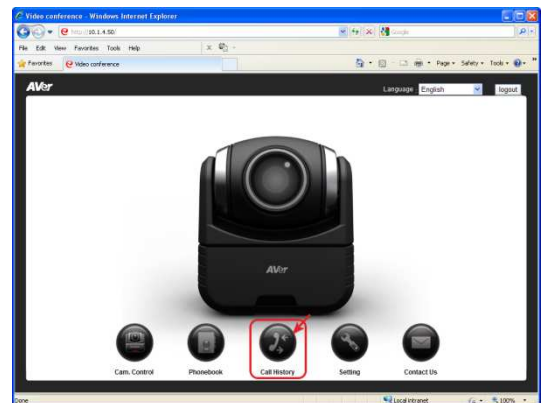


5. ファイルのアップロードが成功すると、その通知が表示されます。[OK] をクリックします。

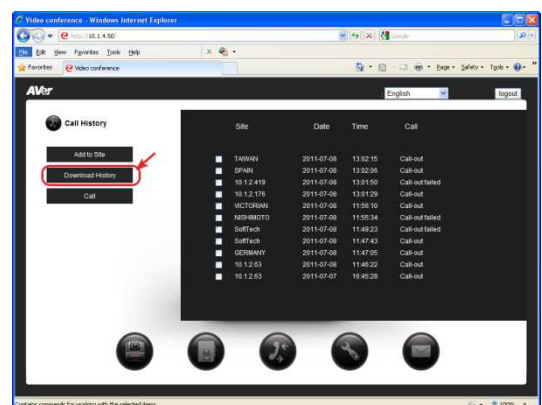


WebTool で通話履歴をダウンロードするには：

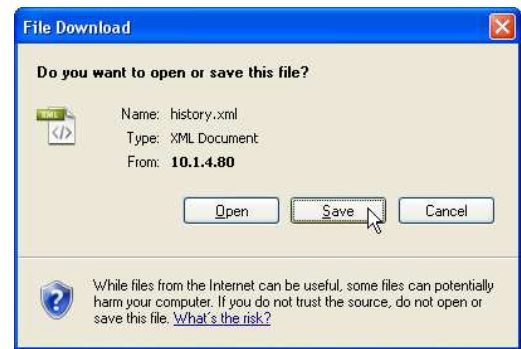
1. [Download (ダウンロード)] をクリックして通話履歴のデータをダウンロードします。



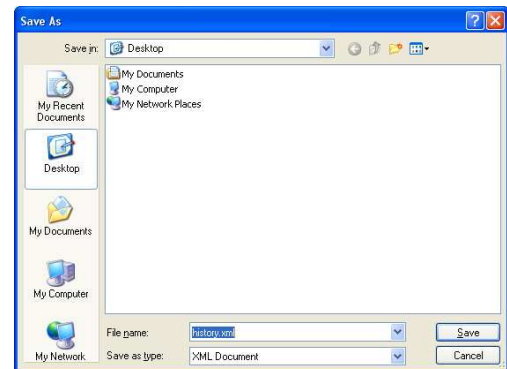
2. [Open (開く)], [(Save (保存)) および [Cancel (取り消し)] が表示されます。[Save (保存)] をクリックします。



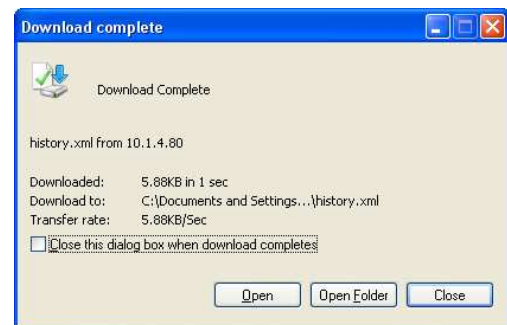
3. ファイルを保存する場所を指定します。[Save (保存)]をクリックします。



4. ダウンロードが完了すると、ファイルを開くか、メッセージボックスを閉じるよう求めるメッセージが表示されます。

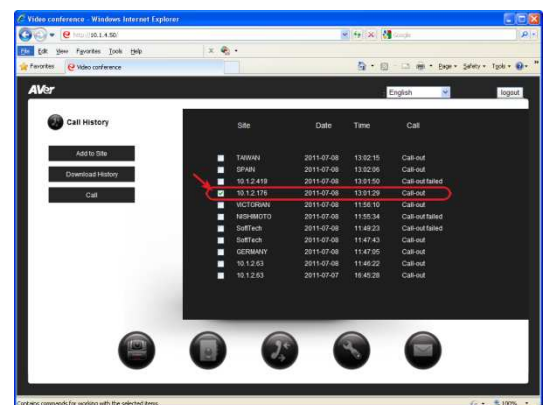


5. [Download (ダウンロード)] をクリックして通話履歴のデータをダウンロードします。

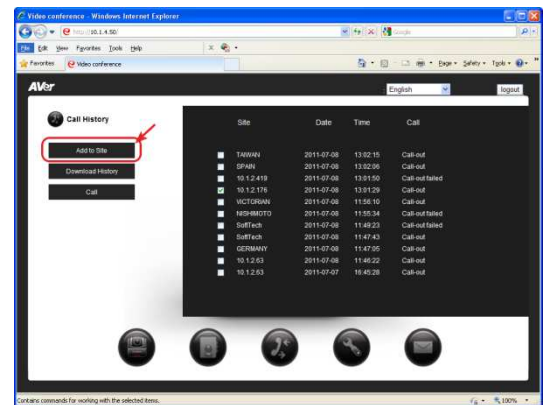


通話履歴リストから電話帳登録に追加するには：

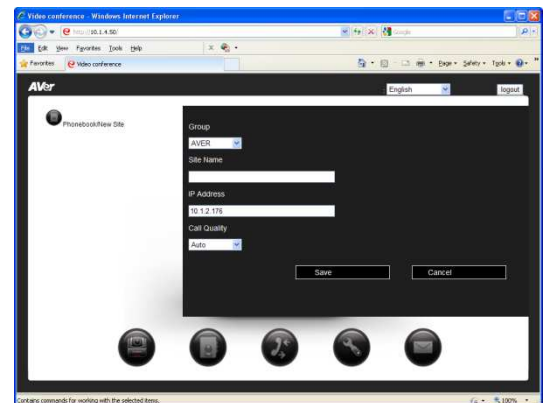
1. 通話履歴リストで選択して、電話帳の登録項目に追加したいチェックボックスを有効にします。



2. [Add (追加)] をクリックして電話帳に追加します。

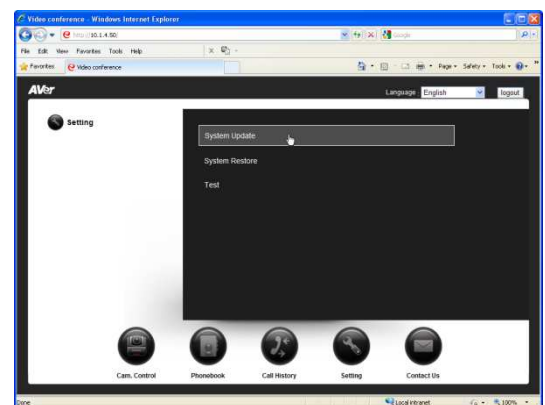


3. 必要に応じて [Name (名前)] を入力し、[Call Quality (通話品質)] と [Group (グループ)] を選択します。次に [Save (保存)] をクリックします。
これで新しい登録項目が電話帳に記載されます。

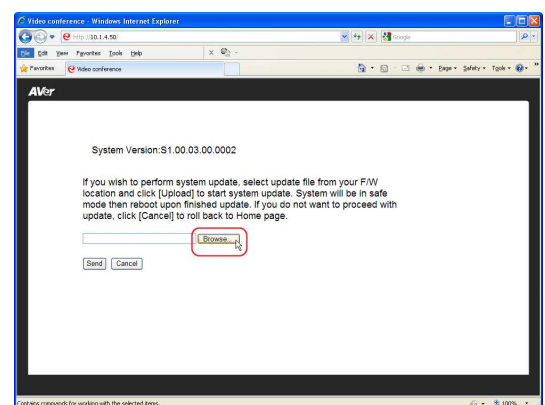


Webtool を利用してファームウェアをアップデートする

1. 当社のウェブサイトからファームウェア ファイルをダウンロードし、そのファイルをコンピュータに保存します。
AVer Webtool で [Setting (設定)] [System Update (システムの更新)] を選択します。

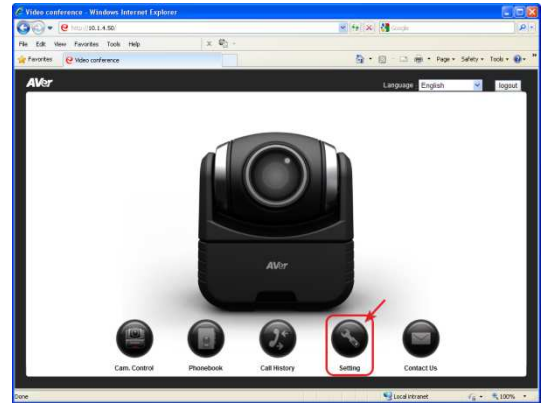


2. [Browse (参照)] をクリックして、前に保存したファームウェア ファイルを指定します。システムの更新を行うため [Send (送信)] をクリックするか、操作を中止するため [Cancel (キャンセル)] をクリックします。

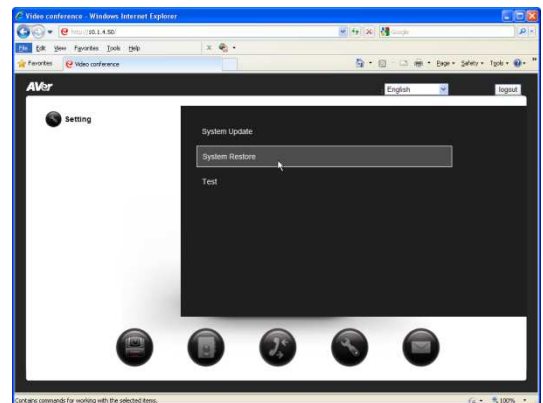


システム設定をバックアップするには：

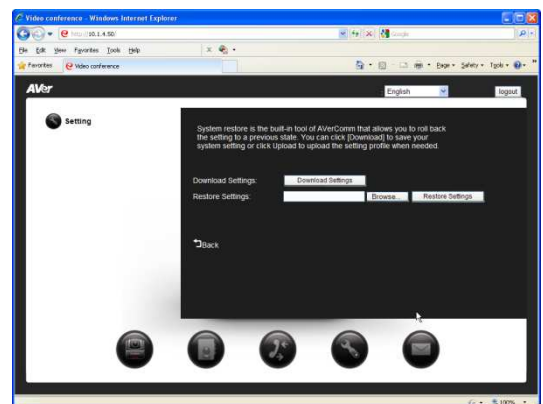
1. WebTool のページで [Setting (設定)] をクリックします。



2. [System Restore (システムを復元)] をクリックします。



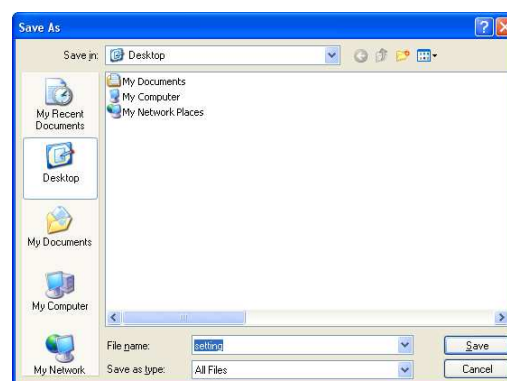
3. [Download Settings(設定をダウンロード)] をクリックします。



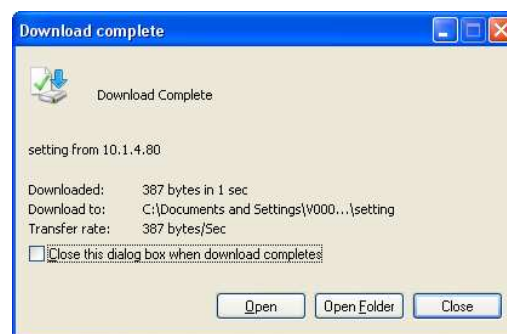
4. ファイルを [Open (開く)] または [Save (保存)] が表示されます。[Save (保存)] をクリックします。



5. [Save (保存)] をクリックします。

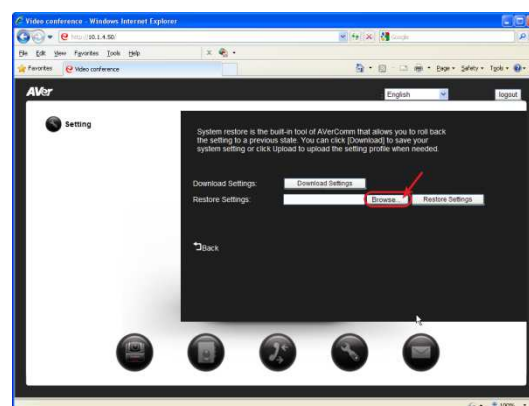


6. ファイルを開くか、メッセージボックスを閉じるよう求めるメッセージが表示されます。[Close (閉じる)] をクリックします。

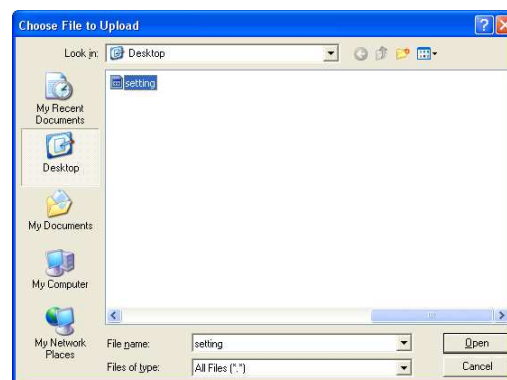


システム設定を復元するには：

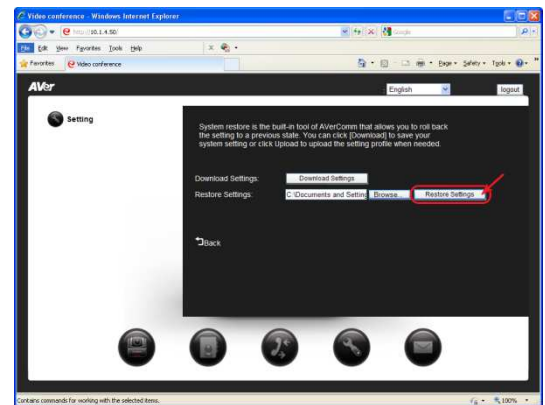
1. [Browse... (参照)] をクリックします。



2. システム設定ファイルを指定し、[Open (開く)] をクリックします。



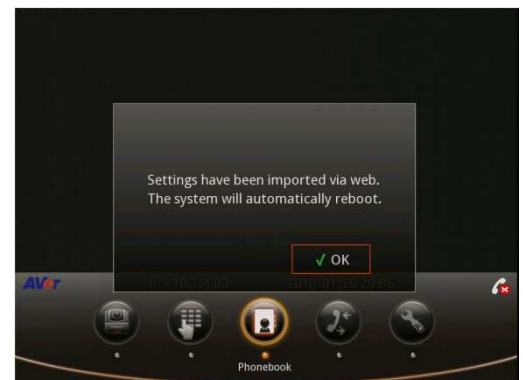
3. [Restore Settings (設定を復元)] をクリックします。



4. システム設定のアップロードが完了したというメッセージが表示されます。[OK] をクリックします。



5. HVC の画面で、システム設定がインターネットを介してアップデートされたというメッセージが表示されます。⌂ を押してメッセージボックスを閉じ、装置を再起動します。



HVC を使用する

システムの設定が終了すれば、通話を始めることができます。H330 は Multipoint Control Unit (MCU、マルチポイントコントロールユニット) をサポートしており、これによって最大 4 拠点までのビデオ会議通話が可能です。



電話をかける

電話をかけるには 3 つの方法があります。電話帳のリストでサイト接続を選択するか、IP アドレスをダイヤルするか、または通話履歴のリストを利用することができます。

電話帳を使用して電話をかけるには：

1. [Phonebook (電話帳)] を選択して  を押します。



2. リストにある [Site contact (サイトの連絡先)] を選択して  を押します。



3. 通話が接続されます。



ダイヤルを使用して電話をかける：

1. [Dial (ダイヤル)] を選択して  を押します。

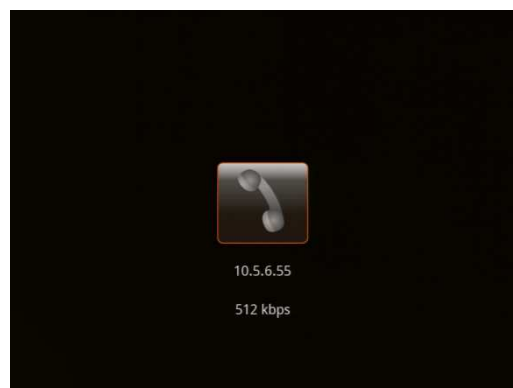


2. リモコンの数字ボタンでダイヤルし、 を押して電話をかけます。

[Auto (自動)] が選択されている場合、自動通話品質でのスピード設定が使われます。



3. 通話が接続されます。



通話履歴を使用して電話をかけるには：

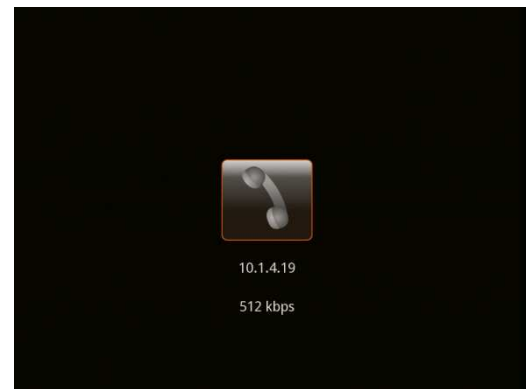
1. [Call History (通話履歴)] を選択して  を押します。



2. 通話履歴で電話をかけたいサイトを選択して  を押します。



3. 通話が接続されます。



4. 通話できない場合は、IP アドレスが不正確か、遠隔サイトが [Do Not Disturb (ただ今取り込み中)] モードになっているか、または遠隔サイトが通話を切っています。



MCU 通話を終了するには:

1. ▲ と ▼ のボタンで接続を解除する相手を選択して ⌂ を押します。 会議を終了するには、[Disconnect All (すべて接続解除)] を選択します。

会議のサイト名がカラーコードで示されます。どのサイト名の接続を解除するか分からない場合は、フレームのカラーを参考にしてください。

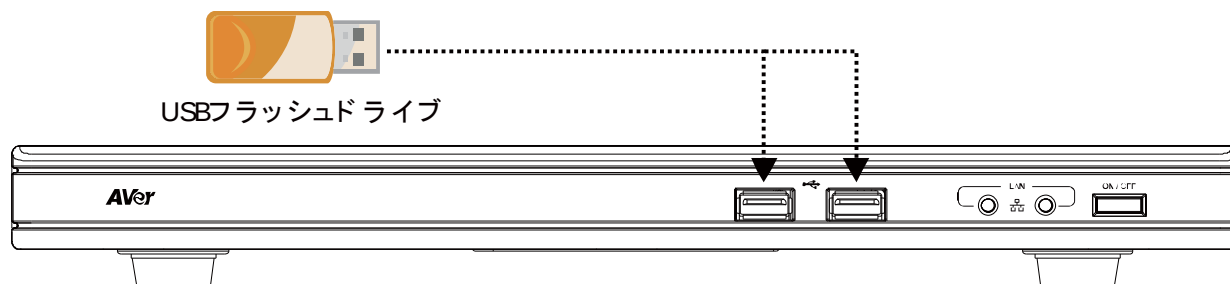


ビデオ録画

HVC で会議を録画するには USB フラッシュドライブが必要です。録画ビデオは*vc 形式で保存されます。ビデオ会議通話中であるかに関係なくビデオを録画することができます。

USB フラッシュドライブをメインシステムの USB ポートに挿入します。録画を始める前に USB フラッシュドライブの準備ができるまで待ちます。リモコンの [RECORD (録画)] を押して、ビデオ録画を開始、停止します。

HVC は 2GB～64GB の USB フラッシュドライブをサポートできます。



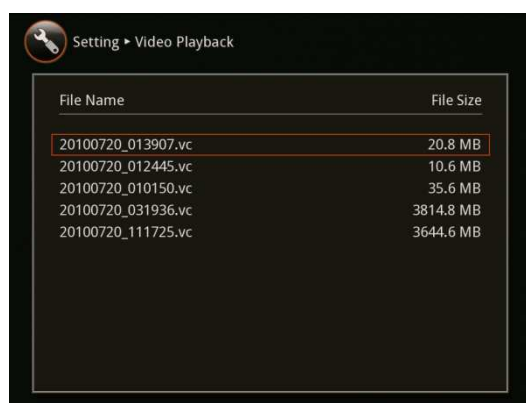
HVC で録画したビデオを再生するには

録画した*vc ファイルを保存した USB フラッシュドライブを、HVC USB ポートに挿入してください。

1. [HOME (ホーム)] メニューで [Setting (設定)] をクリックして、[Recording File (録画ファイル)] を選択してください。



2. [Recording Video Playback (録画ビデオの再生)] を選択し、録画済みの会議リストから視聴したい会議を選択します。



3. [Recording Video Playback (録画ビデオの再生)] 画面でリモコンの左・右ボタンを使って、ビデオプレーヤーのボタンを選択して再生、一時停止、停止します。

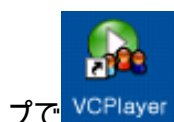


AVer VCPlayer プレーヤーを使用して会議録画を再生するには
お使いのコンピュータが下記のシステムの必要条件を満たしていることを確認してください。

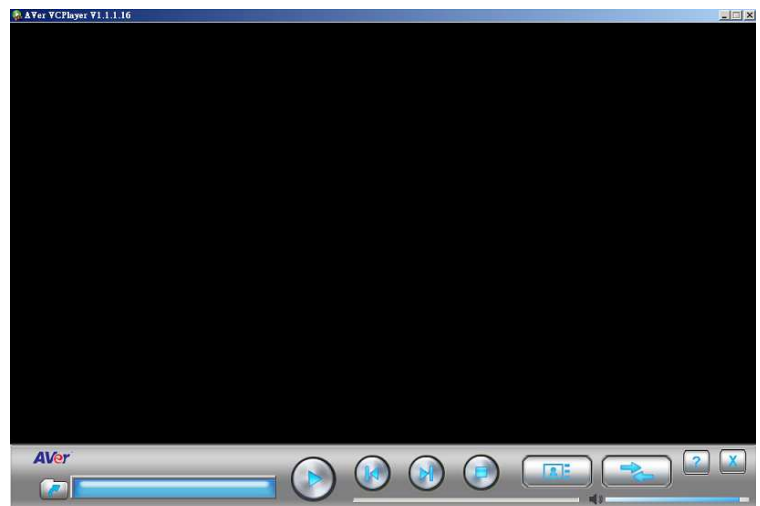
最小のシステム要件

- Intel® Pentium® 4、または AMD Athlon® XP またはそれ以上のプロセッサ、4GHz
Pentium® 4、または Intel core 2 duo、またはそれ以上の機種（推奨）
- Windows XP (SP2) またはそれ以降の OS
- 512MB RAM またはそれ以上
- 50MB のハードディスクの空きスペース

1. [Start (開始)] > [All Programs (すべてのプログラム)] > [AVer VCPlayer (プレーヤー)] をクリックするか、デスクトップで

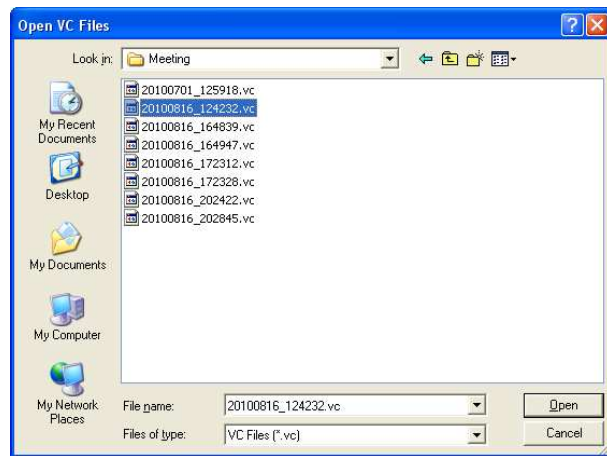


で をダブルクリックします。



2.  をクリックして、*.vc ファイルを指定して開きます。

3. ファイルを選択して [Open (開く)] をクリックします。



4. VCPlayer プレーヤーのコントロールパネルでは、以下の操作が可能です：



*vc ファイルの再生を開始します。



異なる分割画面モードに変更します。



.vc ファイルを.mov 形式に変換



*vc ファイルの再生を停止します。



VC プレーヤーのアプリケーションを閉じます。



ビデオを 5 分間分戻します。



VC プレーヤーのアプリケーション情報を表示します。



ビデオを 5 分間分早送りします。



音量を調節します。

VCLink モバイルの使用

このアプリには MAC と Android バージョンがあります。MAC App Store と Android Market でアプリをダウンロードすることができます。AVer Mobile では、WiFi 接続を介してリモートコントロールインターフェースで HVC をコントロールすることができます。また、電話帳を編集・ダウンロードして携帯電話に保存することもできます。

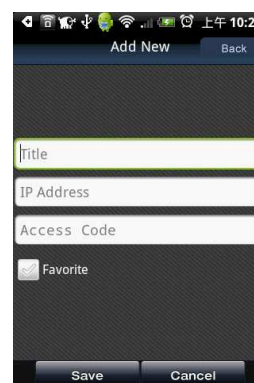
VCLink パスワードを用意し、[Enable VCLink (VCLink を有効にする)] チェックボックスを有効にしてください。

VCLink モバイルの使用を開始するには:

1. [Add New (新規追加)] をクリックします。



2. AVer HVC ユニートを登録します。ユニットのタイトル、IP アドレス、および VCLink のパスワードを入力します。次に [Save (保存)] をクリックします。

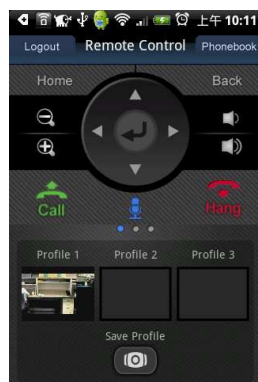


[Favorite (お気に入り)] チェックボックスを有効にし、登録したユニットを [Favorite (お気に入り)] タブに追加します。

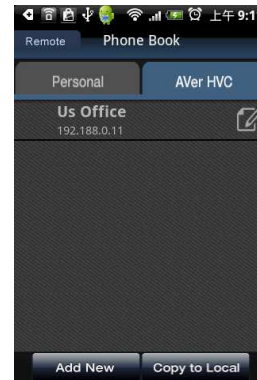
3. リストの名前をダブルクリックしてログインします。



4. [Remote Control (リモートコントロール)] タブをクリックして AVer HVC をコントロールすることができます。下部パネルをスライドしてその他の機能にアクセスすることができます。



5. [Phonebook (電話帳)] > [AVer HVC] タブをクリックし、ユニットから電話帳リストをダウンロードします。電話に電話帳を保存するには、[Copy to Local (ローカルにコピー)] をクリックします。電話帳は選択した [Personal (個人)] タブに一覧表示されます。



ScreenShare の使用

ScreenShare により、ビデオ会議中にコンピュータデスクトップの画像を共有することができます。VCLink パスワードを用意し、[Enable ScreenShare (ScreenShare を有効にする)] チェックボックスを有効にしてください。

ScreenShare モバイルの使用を開始するには:

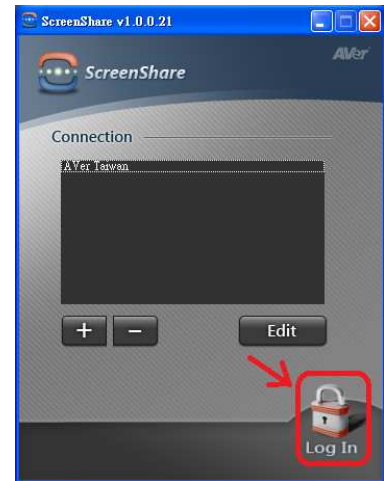
1.  をクリックして AVer HVC ユニットの登録します。



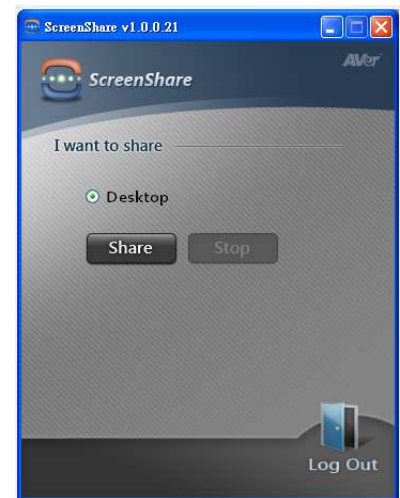
2. AVer HVC ユニットの登録します。ユニットのタイトル、IP アドレス、および VCLink/ScreenShare のパスワードを入力します。それから OK をクリックします。



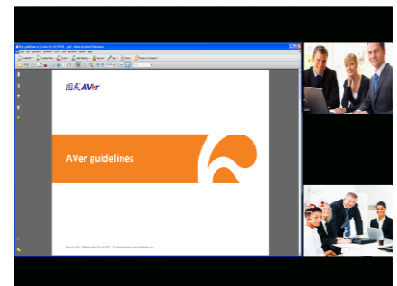
3. 登録した AVer HVC をリストで選択し、[Log In (ログイン)] アイコンをクリックします。



4. 共有する画像を選択し、[Share (共有)] をクリックします。共有するには、[Log Out (ログアウト)] アイコンをクリックします。



5. 画面では共有したコンピュータ画像が表示されます。



トラブルシューティング

オーディオ

1. 通話中に音声聞こえない。

- 両方のサイトでマイクがミュートになっていないか確認してください。
- マイクとメインシステムのケーブル接続が、マニュアルにある図と同じように正しく接続されているか確認してください。
- システムの音量レベルが適切かどうか確認してください。

2. オーディオの品質が良くない。

- HVC のスピーカー/マイクが損傷していないか確認してください。
- [Mic Gain Level (マイクゲインレベル)] を調節してください。
- エコーを避けるためにマイクとスピーカーがそれぞれ離れているか確認してください。

ビデオ/ディスプレイ

1. 画面に画像/ビデオがないか、画像がモノクロになっている。

- リモコンのどれかのボタンを押して、カメラがスリープモードになっていないかチェックしてください。
- すべての接続がユーザーマニュアルの指示通りになっているか、もう一度チェックしてください。
- TV または LCD モニターの電源が入っているかチェックしてください。
- TV か LCD モニターの入力ソースがテレビ会議に切り替えられているか確認してください。
- テレビ会議の正しい入力ソースを選択しているか確認してください。

2. VGA 入力ソースの場合にビデオ画像の幅が広い。

これは正常です。入力が VGA の場合にビデオ画像はややスケールダウンします。

3. 画面のビデオがぼやけている。

[Zoom (ズーム) -]  または [Zoom (ズーム) +]  のボタンを押して、HVC のカメラの焦点を調節してください。

4. VGA ポートからのコンテンツを共有しようとしてリモコンの [Present (プレゼント)] を押しても、オプションに VGA 信号が表示されない。

- ドキュメントカメラやコンピュータのようなデバイスが、HVC の VGA IN ポートに適切に接続されているか確認してください。
- ノートブックパソコンの場合、外部モニターの画面に出力していることを確認してください。

5. コンテンツを共有しようとして [Present (プレゼント)] を開始すると、画面に「Present Failed (プレゼントが失敗しました)」のエラーメッセージが表示される。

通話をしている遠隔サイトが H.239 機能をサポートしていないか、または無効になっています。詳細設定については、システム管理者にお問い合わせください。

ネットワーク

1. デフォルト設定のためにシステムをリセットした後で、システムの IP アドレスが検出されないままか、または無効な数値である。

- IP/サブネットマスク/デフォルト/ゲートウェイが正しくない数値を示す場合は、固定 IP モードで数値を修正できます。
- HVC のデフォルトの [Obtain IP Address (IP アドレスの取得)] の選択は「**Static IP (固定 IP)**」になっています。選択を LAN 設定の DHCP に変更してください。システムは自動的に DHCP サーバーから IP を検出します。

2. なぜ Web tool にアクセスできないのか？

- 正しい IP アドレスを入力したか、また HVC の電源が入っているかチェックしてください。
- HTTP ポート 80 がファイアウォール設定でオープンであることを確認してください。

3. 通話は接続されているが遠隔サイトからのビデオ/オーディオがない。

- ファイアウォールのポリシー設定を確認するか、NAT 設定/NAT パブリックアドレスを確認してください。

4. DHCP として IP アドレスを取得しようとすると、「DHCP service failed (DHCP サービスが失敗しました)」と言うエラーメッセージが出てしまう。

- DHCP サーバー接続を確認してください。
- ネットワークデバイスの MAC のセキュリティ設定を確認してください。

5. なぜ HVC で DNS を取得できないのか？

- HVC は DNS をサポートしていません。

一般事項

1. 通話を接続できずに画面に「Call failed (通話が失敗しました)」のエラーメッセージが表示される。

- 電話をかけている IP アドレスが正しいかどうか確認してください。
- 相手方のサイトがシステムを「Do Not Disturb (ただ今取り込み中)」に設定していないか、または通話を受け付けていないのか、確認してください。
- すでに最大限の接続数を使用しているシステムに電話をかけていないか確認してください。

2. 管理者のパスワードを思い出せない。

HVC のテクニカルサポートに連絡してサポートを求めてください。

3. 遠隔カメラをコントロールできない。

- [Cam Ctrl (カメラコントロール)] アイコン  が、コントロールしたいカメラのサイトの画面でオンになって

いるかどうか確認してください。リモコンで  を押して、コントロールしたいカメラのサイトに切り替えます。

- 遠隔サイトで [Far Control of Near Camera (遠隔カメラコントロール)] 設定を有効にしていることを確認してください。遠隔カメラコントロールを可能にするには、 を押して [Setting (設定)] > [System Setting (システム設定)] に進んでください。次に [Far control of Near Camera (遠隔カメラにコントロール)] を選択します。

4. HVC が USB デバイスを検出できない。

- USB フラッシュドライブを取り出し、もう一度挿入して、システムが新たに USB デバイスを検出するのを 10～15 秒待ちます。
- 当社では外部 HDD の使用は推奨しません。その使用が原因でシステムエラーまたは録画の失敗が生じる可能性があります。

保証について

該当する製品の購入日から「**Warranty Period of AVer ProductPurchased**(購入された AVer 製品の保証期間)」セクションに定める期間、AVer Information, Inc. (「AVer」)は、該当する製品(「製品」)が、AVer の製品向け文書に実質的に適合し、通常の使用では、その製造とコンポーネントに材料および仕上りの欠陥がないことを保証します。この契約で使用される「使用者」は使用者個人、または該当の製品を使用またはインストールする対象となる事業体を意味します。この制限付き保証は本来の購入者としての使用にのみ限定されます。前述の場合を除き、製品は「現状のまま」提供されます。AVer はいかなる状況でも、使用者が問題または中断なく製品を操作できること、または製品が使用者の目的に適合していることを保証するものではありません。この節における使用者の唯一の救済および AVer の全責任は、AVer の選択で、同じまたは同等の製品で、製品の修理または交換を行うことです。この保証は、(a) 製品のシリアル番号が判別不能だったり、修正されたり、外されたりした場合、または(b) 本製品と一緒に使用されるカートン、ケース、バッテリー、キャビネット、テープ、アクセサリには適用されません。この保証は、(a) 事故、乱用、誤用、粗略な取扱い、火、水、落雷などの自然災害、商業的または工業的使用、不適切な改造、製品に含まれる指示に従わないこと、(b) 製造元の担当者以外の者によるサービスの誤用、(c) 出荷による損傷(そうした賠償は運送業者に請求しなければならない)、または(d) 製品の不具合に関係のない他の原因によって、損傷、機能悪化、異常が生じた製品には適用されません。製品を修理または交換する保証期間は、(a) 本来の保証期間、または(b) 修理または交換した製品の出荷日から 30 日以内とします。

保証の制限

AVer はいかなる第三者に対しても保証する責任を負いません。製品の使用または不使用によって使用者に要求されたすべての賠償、損害、返済、費用、弁護士費用については、使用者が責任を負います。この保証は、製品が AVer の仕様に従って設置、操作、保守、使用された場合にのみ適用されます。特に、保証は、(i) 事故、異常な物理的、電氣的、電磁氣的ストレス、粗略な取扱い、誤用、(ii) AVer の仕様の範囲を超える電力の変動、(iii) AVer または同社の正式代理店によって提供されたのではないアクセサリやオプションの併用、または(iv) AVer または同社の正式代理店以外の者による製品の設置、改造、修理によって引き起こされるいかなる障害にも適用されません。

保証の放棄

AVer は、明白に規定されている場合を除き、および法律で最大限に認められる範囲で、明示的か、暗黙か、法令によるかを問わず、品質の満足、売買の過程、取引利用や慣行や商品性の暗黙的保証、特定の目的への適

合性、第三者の非侵犯を含む、またはそれらに限定されない製品に関する他のすべての保証を放棄します。

責任の限定

AVer はいかなる事態が発生しようとも、過失または他の法的理論を含む契約または不法行為に基づき、この制限付き保証、またはいかなる製品の使用または性能に関連して発生した利益、データ、売上、利用の損失、またはビジネスの中断、または代替商品やサービスの提供コストを含む、またはそれに限定されない、直接的、間接的な、特殊な、偶発的な、深刻な、必然的な損害および損失に対して、そのような損害の可能性が事前に何らかの形で指摘されていたとしても、責任を負わないものとします。いかなる形態の行為に起因するものであれ、損害に対する AVer 責任は、責任が求められる特定の製品に対して使用者が AVer に支払った額を超えないものとします。

準拠法と使用者の権利

この保証は使用者に特定の法的権利を付与します。



保証期間については、保証書を参照してください。

米連邦通信委員会声明(Class A)

FC 注意- 本装置はFCC 規則Part15 に従うClass A のデジタルデバイスの制限値に適合していることがテストにより確認されています。それらの制限は装置を住居環境で使用した場合に有害な干渉の発生を適度に防止することを目的としています。本装置は無線周波エネルギーを発生、使用、および放出しています。指示に従って設置または使用しない場合、無線通信に有害な干渉を引き起こすことがあります。しかし、特定の設置によって干渉が発生しないという保証はありません。本装置によってラジオまたはテレビ受信に装置のON/OFF によって確認できる有害な干渉が発生した場合、ユーザーは以下のいずれか、または複数の対策を講じてください:

- 受信アンテナの向きまたは場所を変える。
- 本装置と受信機の距離を離す。
- 本装置と受信機の電源系列を別の回路にする。
- 販売店やラジオ/ビデオの専門技術者に問い合わせる。

Class A ITE:

Class A ITE は、Class B ITE の限度値を満足せず、Class A ITE の限度値を満足する上記以外のITE です。それらの装置の販売は制限されませんが、使用に関しては以下の警告に留意する必要があります。

警告- これはClass A 製品です。本製品を室内で使用すると無線干渉を引き起こすことがあり、使用者には適切な手段を講じるよう求められることがあります。

CE Class A (EMC)

CE 本製品は電磁気両立性指令2004/108/EEC に関する加盟諸国の法律の近似化の議会指令で制定された条件に適合していることが確認されています。

警告- これはClass A 製品です。本製品を室内で使用すると無線干渉を引き起こすことがあり、使用者にはこの干渉を解消する適切な手段を講じるよう求められることがあります。

免責

本書の内容、品質、商品性、特定の目的への適合性に関して、明示的か暗黙かを問わず、いかなる保証ま

たは責任を放棄します。本書が提供する情報の信頼性は慎重に確認されていますが、正確性に欠いたとしても一切責任を負いません。本書に含まれる情報は予告なしに変更されることがあります。

AVer は、本製品または本書の使用または不使用によって発生したいかなる直接的、間接的、特別の、付随的、または結果的な損害に対して、たとえこのような損害が生じる可能性について報告を受けていたとしても、一切責任を負いません。

商標

「AVer」は AVer Technologies, Inc.の商標（または登録商標）であり、AVer Information, Inc が使用の認可を受けています。「AVer」は AVer Information, Inc.の商標（または登録商標）です。ここで使用されているその他の商標は説明だけを目的としており、各製造メーカーに属しています。

著作権

© 2010 by AVer Information, Inc. 全権留保。本書の一部または全部を AVer Information 社の文書による許可なしに、いかなる手段でも、再発行、転送、検索システムへ保存、他の言語へ翻訳することを禁止します。



ゴミ箱のマークは他の家庭用廃棄物と一緒に本製品を廃棄してはならないことを示しています。むしろ、不要になった電気および電子装置をリサイクルのために指定された集積場に持参して、不要な装置を廃棄する必要があります。リサイクルするために不要な装置を廃棄する場所に関する詳しい情報については、家庭用廃棄物処理サービスセンターまたは製

品を購入した販売店にお問い合わせください。

リモートコントロールのバッテリーの安全性に関する情報

- バッテリーは涼しい乾燥した場所に保管してください。
- 使用済みのバッテリーを家庭用廃棄物として廃棄しないでください。バッテリーは特別な集積場で廃棄するか、該当する場合には販売店に返却してください。
- 長期間使用しない場合には、バッテリーを取り外してください。バッテリーの液漏れや腐食により、リモートコントロールが損傷する場合があります。バッテリーは安全に廃棄してください。
- 古いバッテリーを新しいバッテリーと一緒に使用しないでください。
- アルカリ電池、標準電池(炭素亜鉛)、または充電式電池(ニッケルカドミウム)など、異なるタイプのバッテリーと一緒に使用しないでください。
- バッテリーを火中に廃棄しないでください。

バッテリーの端子を短絡させないようにしてください。



瓦楞纸板



LDPE



PET



CFB



WP



O